

2024年度春夏～秋冬物【丸編製品】生産状況調査結果

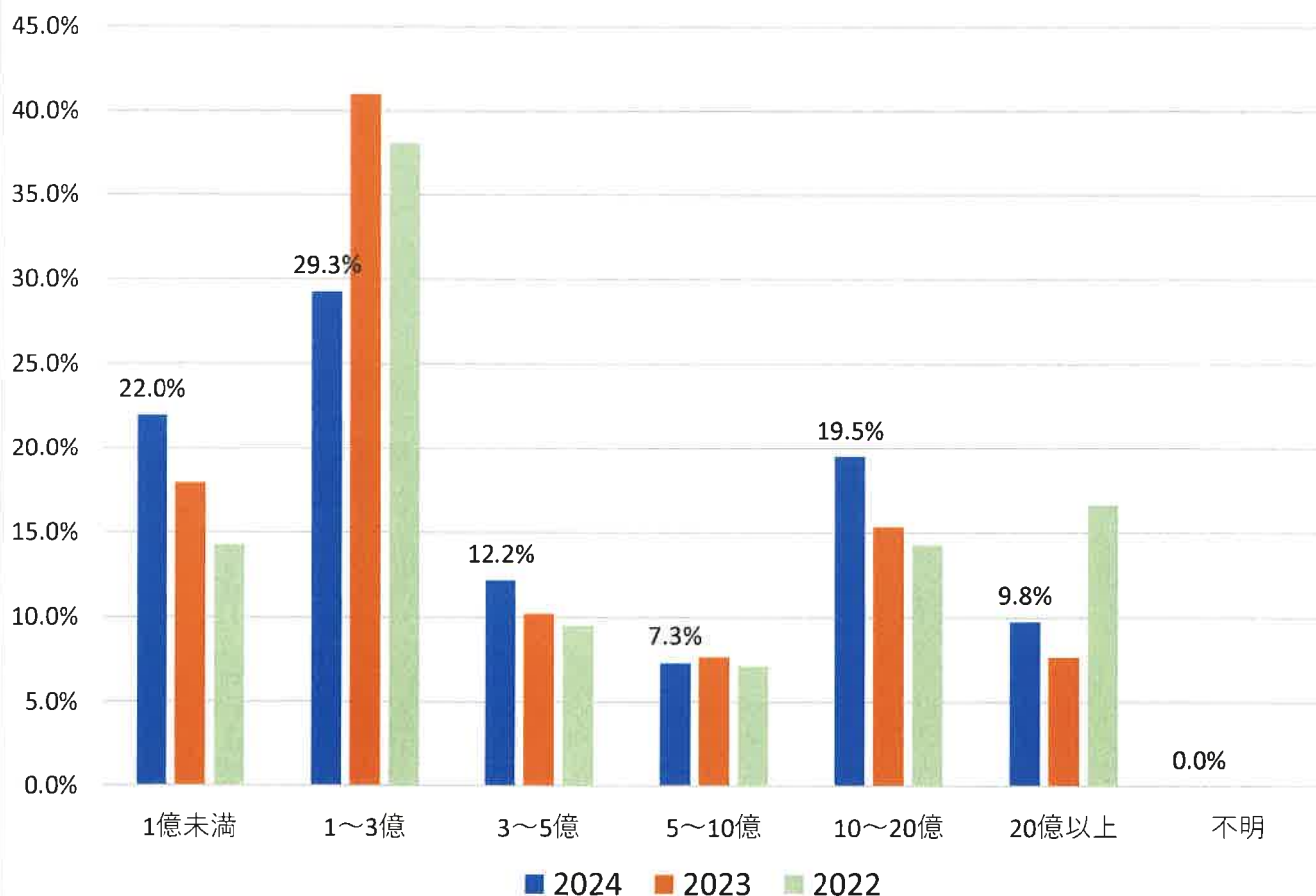
R6、11、1

1. 売上高産地別回答企業数

(単位:社)

組合名	1億未満	1～3億	3～5億	5～10億	10～20億	20億以上	不明	合計
東京	4	10	3	1	4	2	0	24
(2023)	5	11	3	1	5	2	0	27
大阪	3	2	2	1	3	2		13
(2023)	2	5	1	2	1	1	0	12
和歌山	2	0	0	1	1	0	0	4
(2023)							0	0
合計	9	12	5	3	8	4	0	41
構成比	22.0%	29.3%	12.2%	7.3%	19.5%	9.8%	0.0%	100.0%
2023年度	7	16	4	3	6	3	0	39
構成比	17.9%	41.0%	10.3%	7.7%	15.4%	7.7%	0.0%	100.0%
2022年度	6	16	4	3	6	7	0	42
構成比	14.3%	38.1%	9.5%	7.1%	14.3%	16.7%	0.0%	100.0%

【売上高構成推移表】

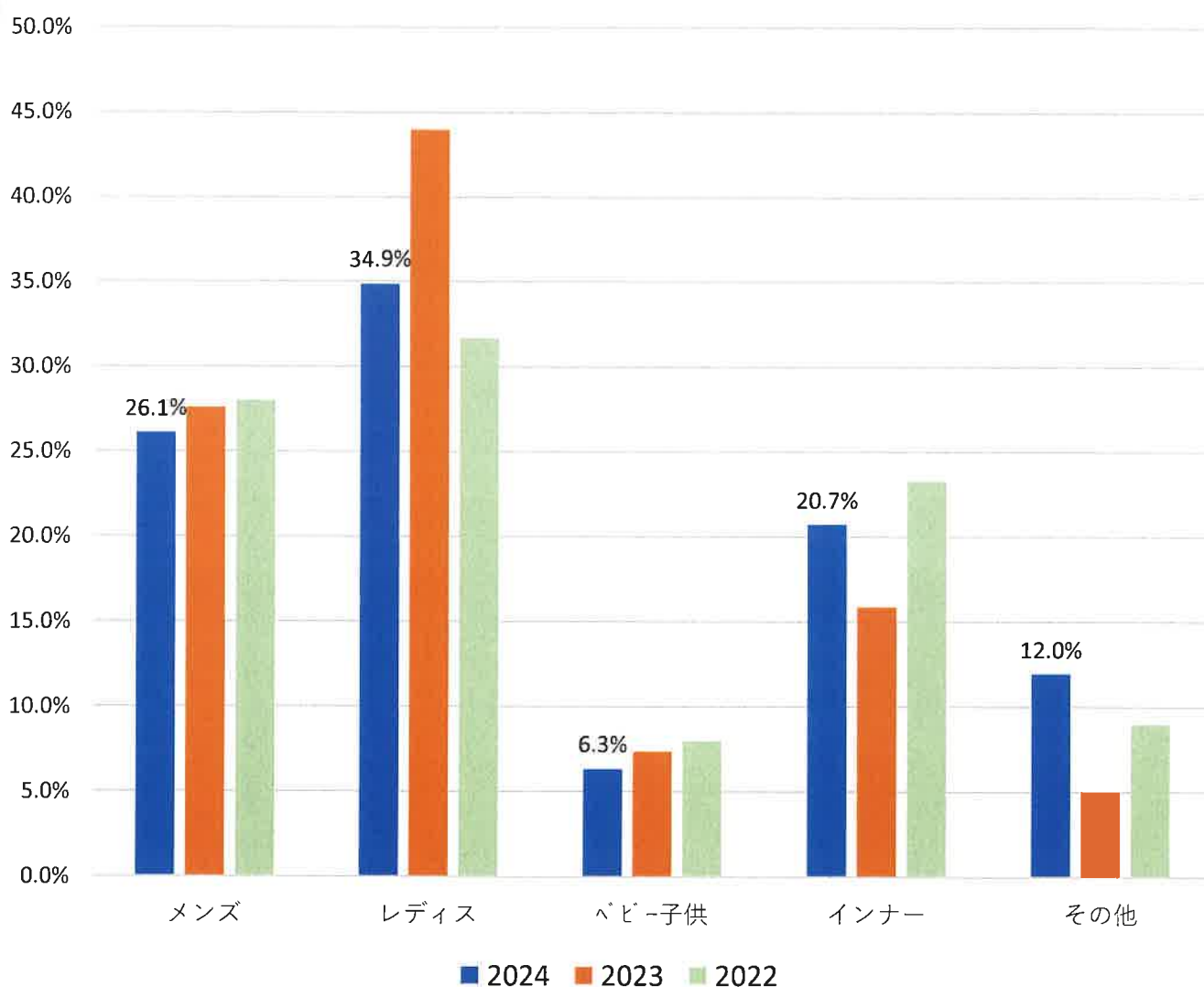


2. 取扱いアイテム産地別構成比

(単位: %)

組合名	メンズ	レディース	ベビー・子供	インナー	その他		不明	合計
東京	31.5%	45.4%	8.5%	9.2%	5.4%			100.0%
(2023)	32.6%	49.3%	6.7%	4.4%	7.0%			
大阪	14.6%	15.8%	4.2%	37.7%	27.7%			100.0%
(2023)	16.7%	32.1%	8.8%	41.7%	0.7%			
和歌山	31.3%	33.8%	0.0%	35.0%	0.0%			100.0%
(2023)								
構成比	26.1%	34.9%	6.3%	20.7%	12.0%			100.0%
2023年度	27.6%	44.0%	7.4%	15.9%	5.1%			100.0%
2022年度	28.0%	31.7%	8.0%	23.3%	9.0%			100.0%

【取扱いアイテム構成推移表】

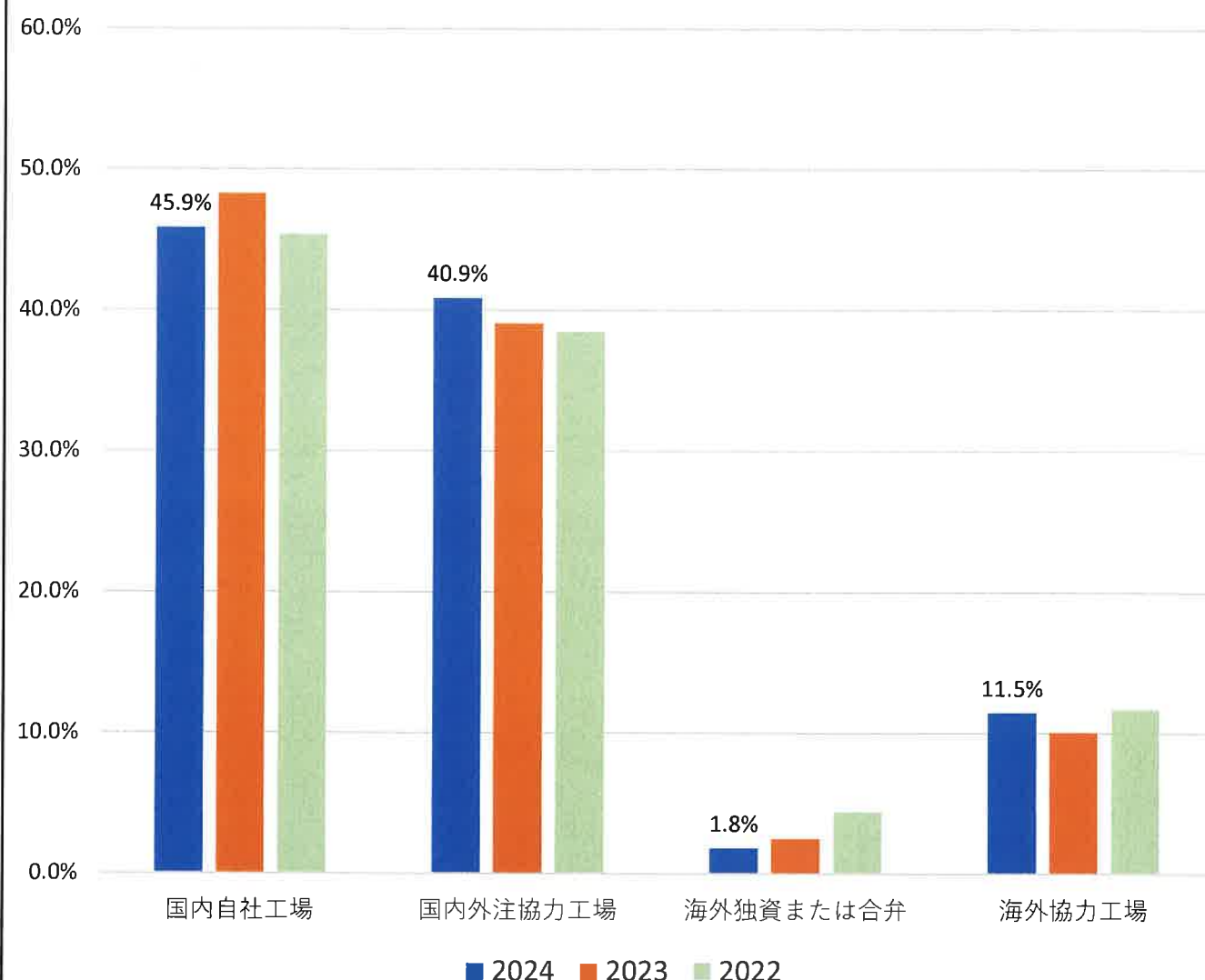


3. 国内自社、外注等、産地別生産構成比

(単位: %)

組合名	国内生産		海外生産		合計
	自社工場	外注協力工場	独資または合併	協力工場	
東京	63.3%	31.7%	1.5%	3.5%	100.0%
(2023)	59.1%	37.2%	0.0%	3.7%	
大阪	27.7%	40.0%	3.1%	29.2%	100.0%
(2023)	24.0%	43.3%	8.1%	24.6%	
和歌山	0.0%	98.8%	0.0%	1.3%	100.0%
(2023)					
構成比	45.9%	40.9%	1.8%	11.5%	100.0%
2023年度	48.3%	39.1%	2.5%	10.1%	
2022年度	45.4%	38.5%	4.4%	11.7%	

【生産背景推移表】

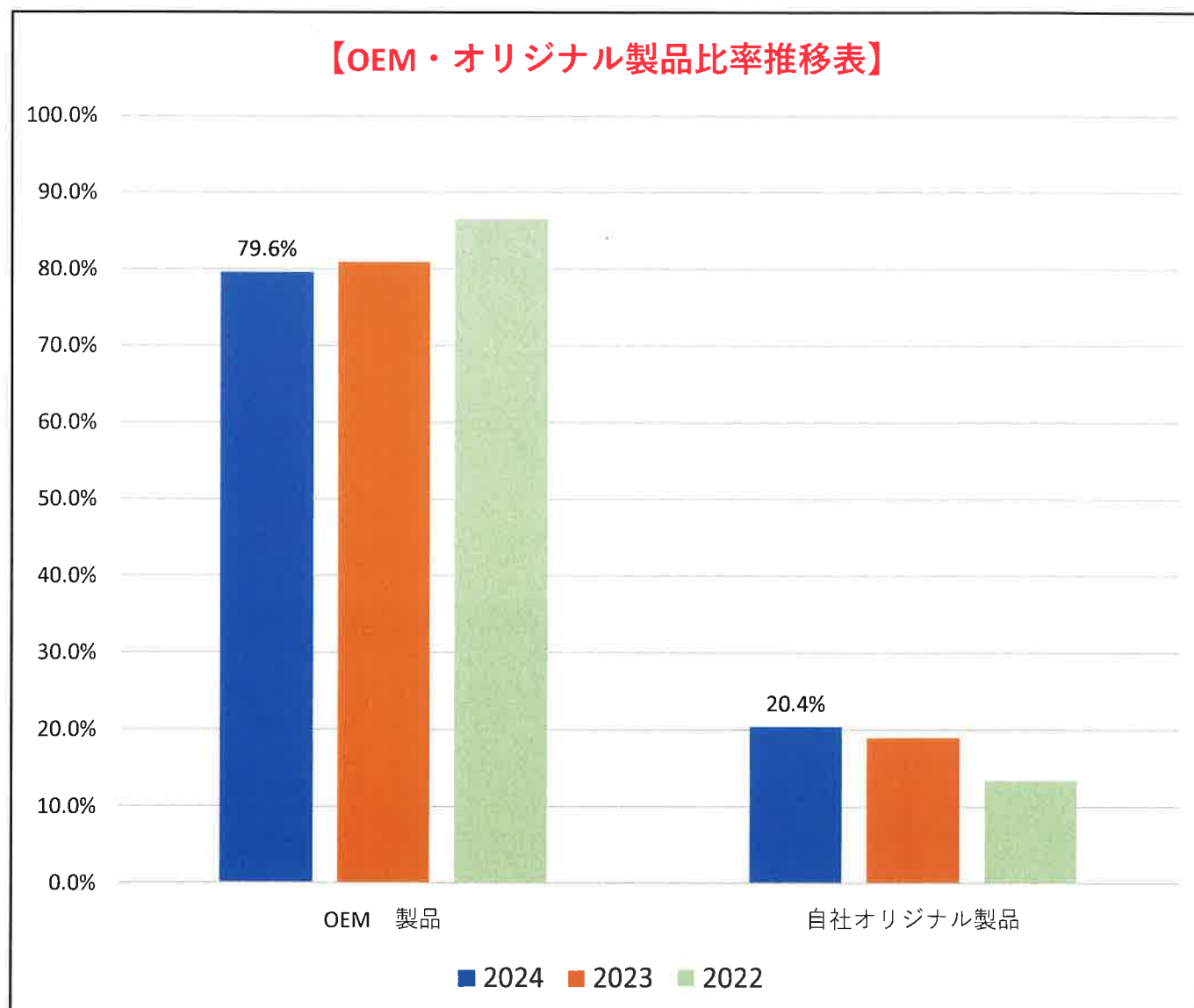


4. OEM、自社オリジナル製品産地別比率

(単位: %)

組合名	OEM製品	自社オリジナル製品		不明	合計
東京	93.2%	6.8%			100.0%
(2023)	93.6%	6.4%			
大阪	62.1%	37.9%			100.0%
(2023)	52.6%	47.4%			
和歌山	55.0%	45.0%			100.0%
(2023)					
構成比	79.6%	20.4%			100.0%
2023年度	81.0%	19.0%			
2022年度	86.6%	13.4%			

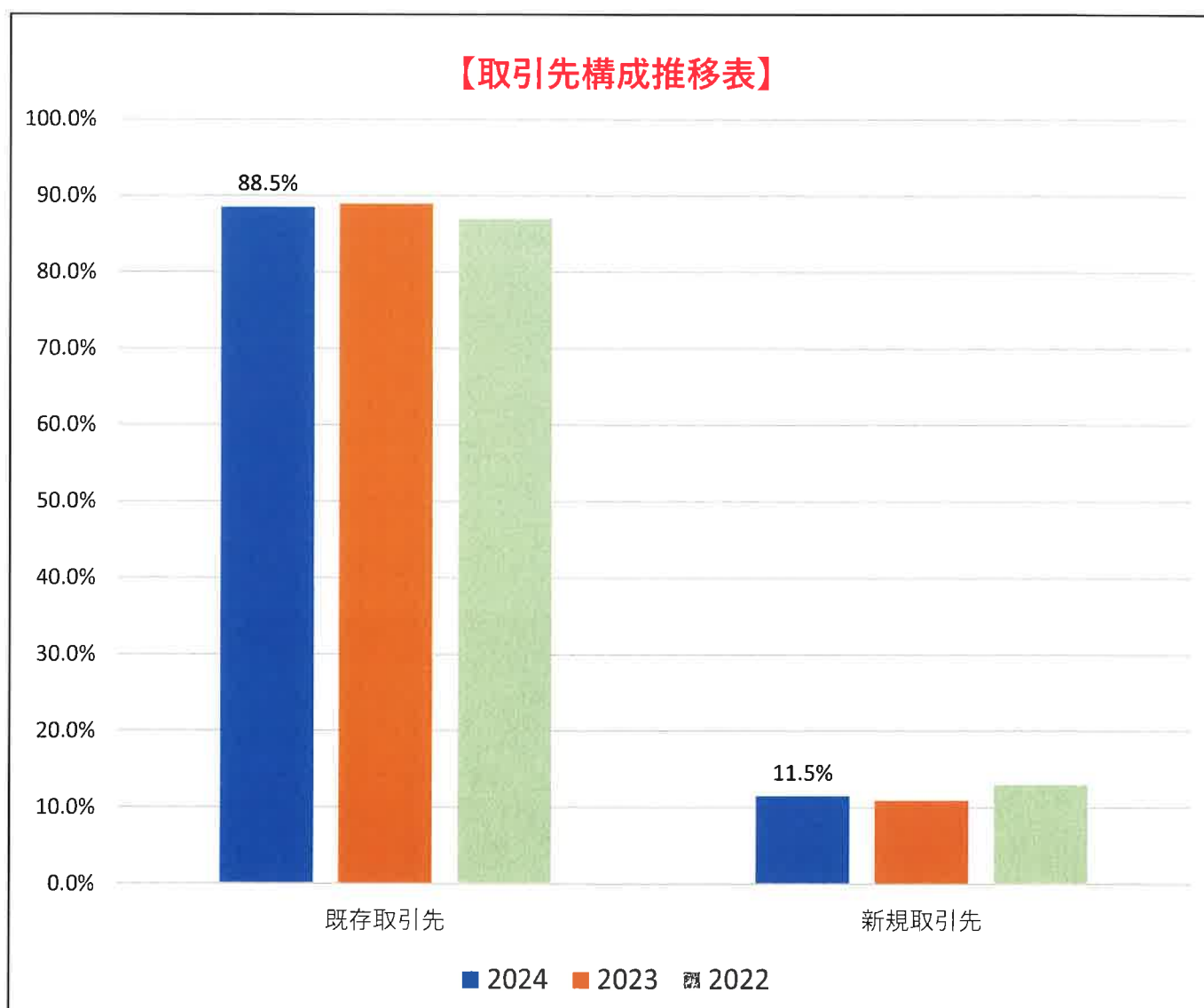
【OEM・オリジナル製品比率推移表】



5. 取引先構成産地別比率

(単位: %)

組合名	既存取引先	新規取引先		不明	合計
東京	88.9%	11.1%			100.0%
(2023)	88.0%	12.0%			
大阪	87.2%	12.8%			100.0%
(2023)	91.2%	8.8%			
和歌山	90.5%	9.5%			100.0%
(2023)					
構成比	88.5%	11.5%			100.0%
2023年度	89.0%	11.0%			100.0%
2022年度	87.0%	13.0%			100.0%

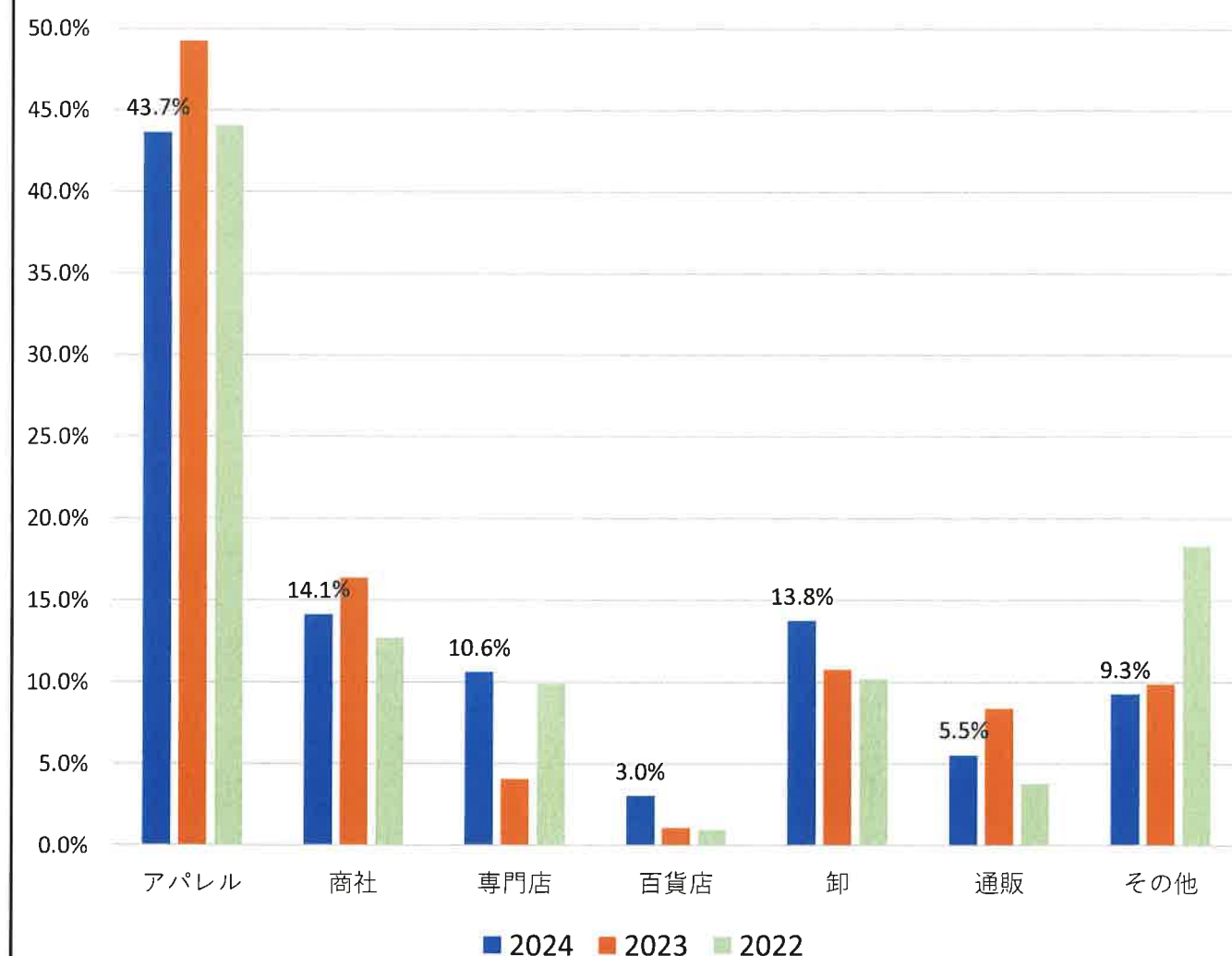


6. 業態別産地別構成比

(単位: %)

組合名	アパレル	商社	専門店	百貨店	卸	通販	その他	合計
東京	58.5%	15.1%	8.9%	1.4%	9.4%	4.2%	2.5%	100.0%
(2023)	60.8%	18.6%	4.6%	1.2%	3.9%	2.1%	8.8%	
大阪	14.2%	16.5%	17.1%	0.9%	25.5%	9.2%	16.5%	100.0%
(2023)	23.4%	11.3%	2.9%	0.9%	26.4%	22.6%	12.5%	
和歌山	50.0%	0.3%	0.0%	20.0%	1.8%	1.8%	26.3%	100.0%
(2023)								
構成比	43.7%	14.1%	10.6%	3.0%	13.8%	5.5%	9.3%	100.0%
2023年度	49.3%	16.4%	4.1%	1.1%	10.8%	8.4%	9.9%	100.0%
2022年度	44.1%	12.7%	9.9%	1.0%	10.2%	3.8%	18.3%	100.0%

【取引先構成推移表】

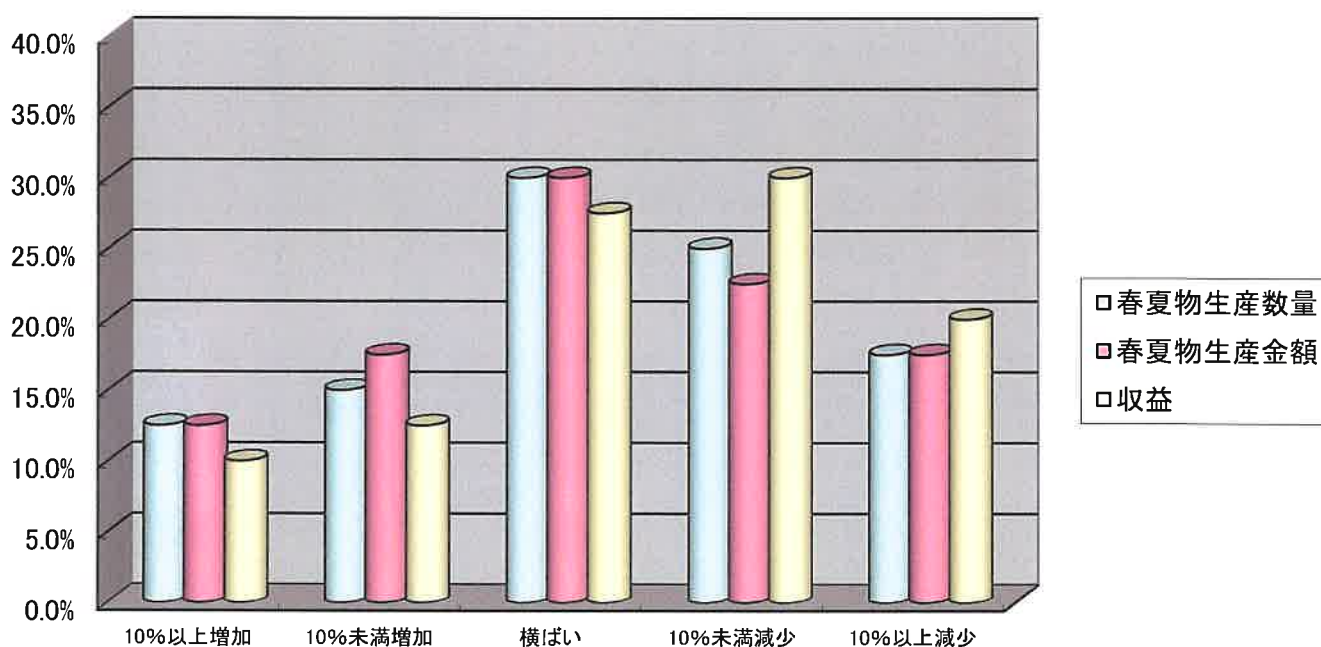


【全国集計】（ 41 社） 【春夏物】

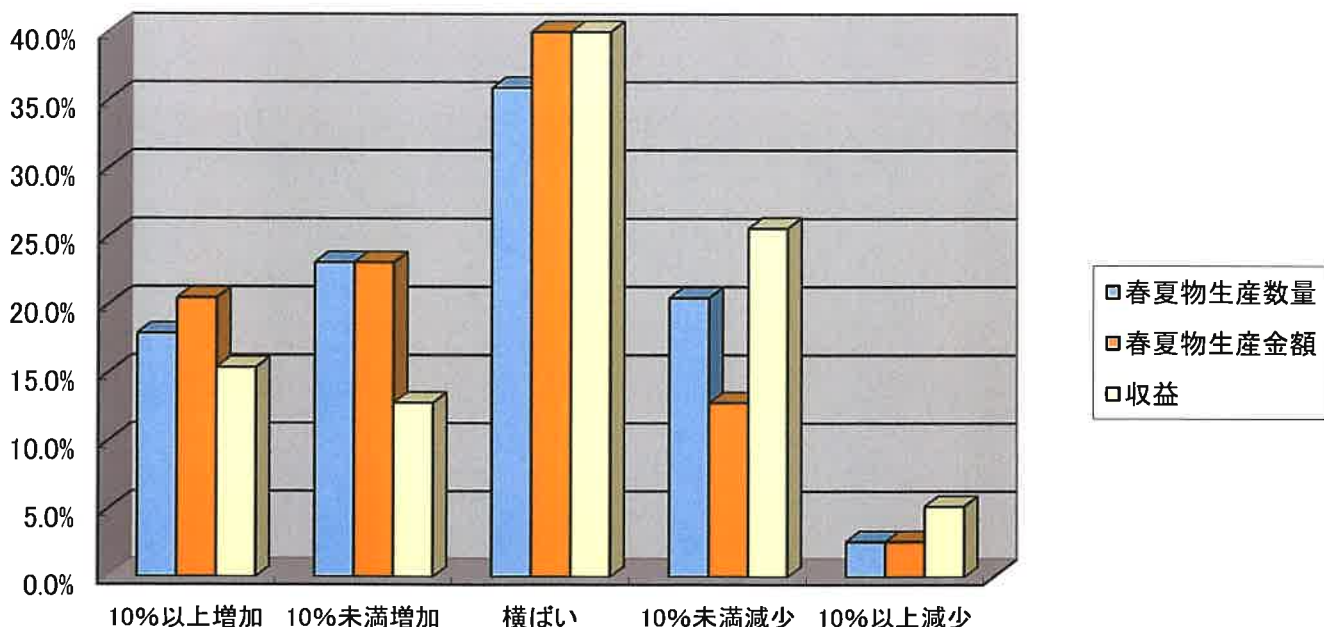
※和歌山1社、S/S生産無しのため、対象40社のデータ

		10%以上増加		10%未満増加		横ばい		10%未満減少		10%以上減少	
		社	構成比	社	構成比	社	構成比	社	構成比	社	構成比
春夏物	生産数量	5	12.5%	6	15.0%	12	30.0%	10	25.0%	7	17.5%
	生産金額	5	12.5%	7	17.5%	12	30.0%	9	22.5%	7	17.5%
	収 益	4	10.0%	5	12.5%	11	27.5%	12	30.0%	8	20.0%
2023	生産数量	7	17.9%	9	23.1%	14	35.9%	8	20.5%	1	2.6%
	生産金額	8	20.5%	9	23.1%	16	41.0%	5	12.8%	1	2.6%
	収 益	6	15.4%	5	12.8%	16	41.0%	10	25.6%	2	5.2%

2024年度 春夏物産地別生産・収益状況

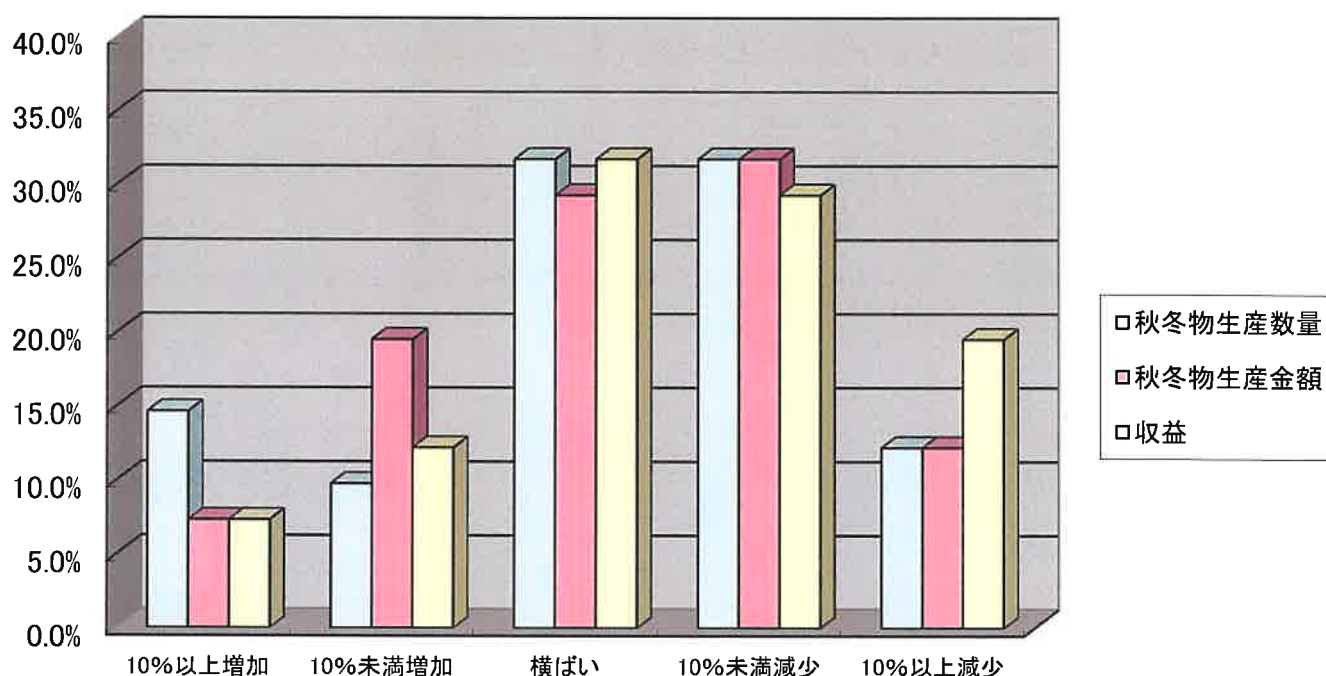


2023年度 春夏物実績データ

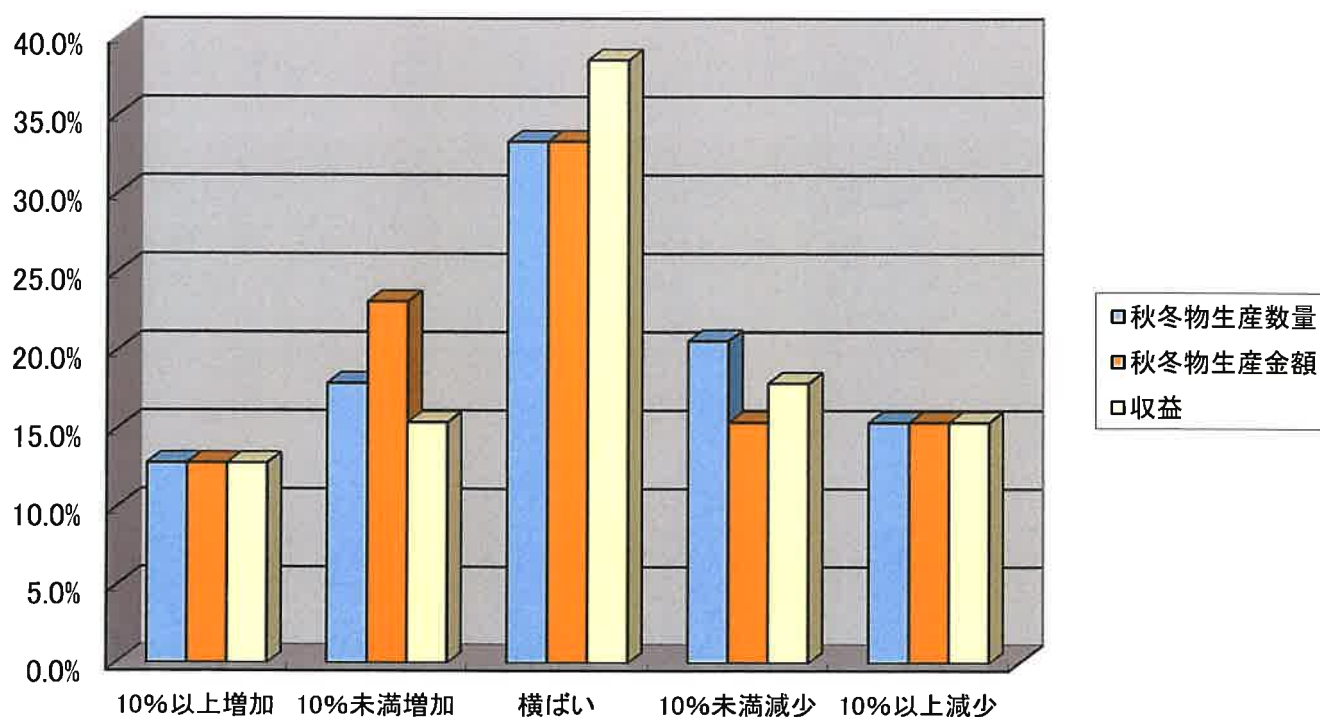


		10%以上増加		10%未満増加		横ばい		10%未満減少		10%以上減少	
		社	構成比	社	構成比	社	構成比	社	構成比	社	構成比
秋冬物	生産数量	6	14.6%	4	9.8%	13	31.7%	13	31.7%	5	12.2%
	生産金額	3	7.3%	8	19.5%	12	29.3%	13	31.7%	5	12.2%
	収 益	3	7.3%	5	12.2%	13	31.7%	12	29.3%	8	19.5%
2023	生産数量	5	12.8%	7	17.9%	13	33.3%	8	20.6%	6	15.4%
	生産金額	5	12.8%	9	23.1%	13	33.3%	6	15.4%	6	15.4%
	収 益	5	12.8%	6	15.4%	15	38.5%	7	17.9%	6	15.4%

2024年度 秋冬物産地別生産・収益状況



2023年度 秋冬物実績データ

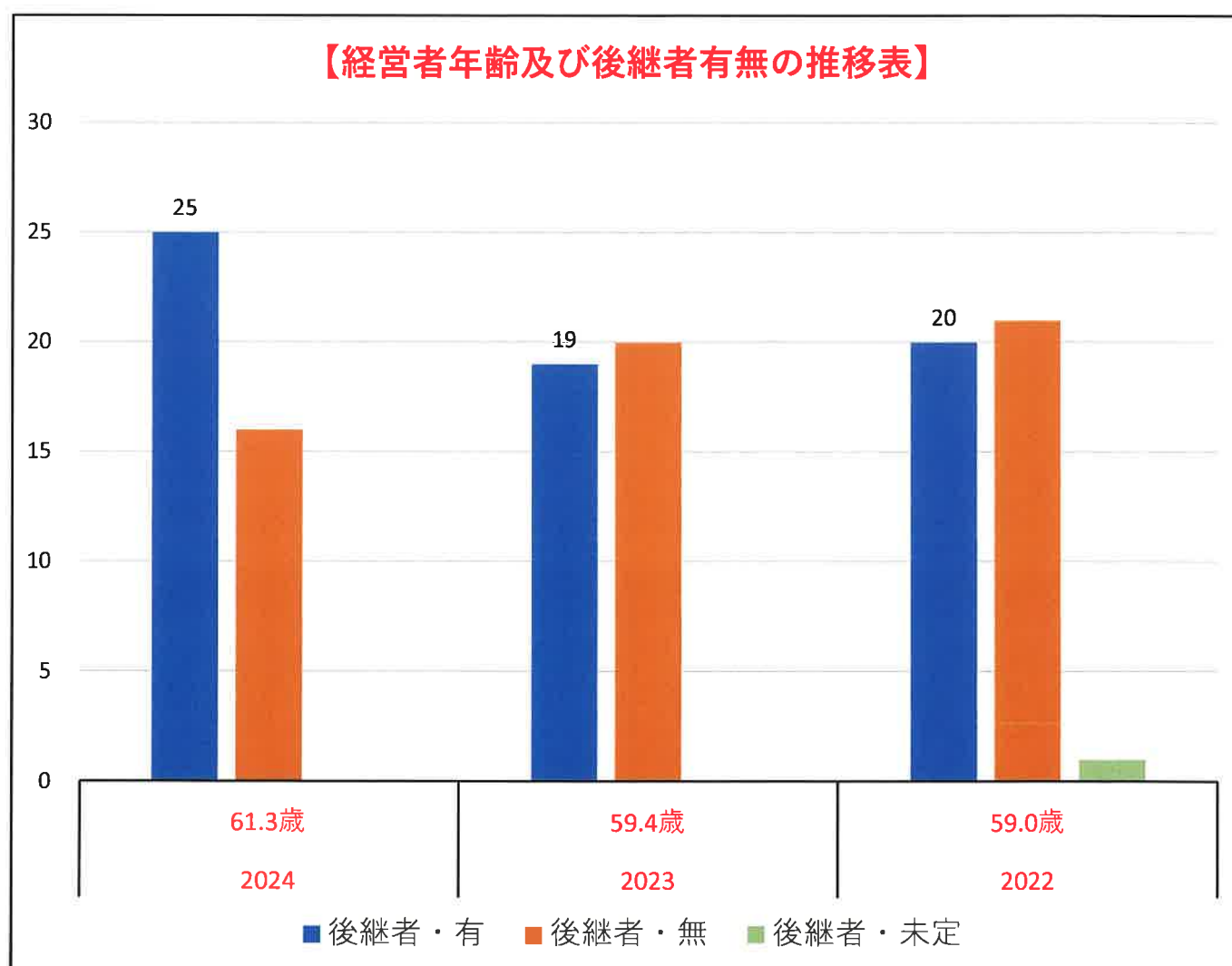


8. 産地別経営者年齢及び後継者の有無

(単位:社)

組合名	経営者の平均年齢	後継者の有・無			
		有	無	未定	合計
東京	56.4歳	12	12	0	24
(2023)	55.2歳	13	14	0	27
大阪	72.2歳	11	2	0	13
(2023)	68.9歳	6	6	0	12
和歌山	55.0歳	2	2	0	4
(2023)	歳				0
構成比	61.3歳	25	16	0	41
2023年度	59.4歳	19	20		39
2022年度	59.0歳	20	21	1	42

【経営者年齢及び後継者有無の推移表】



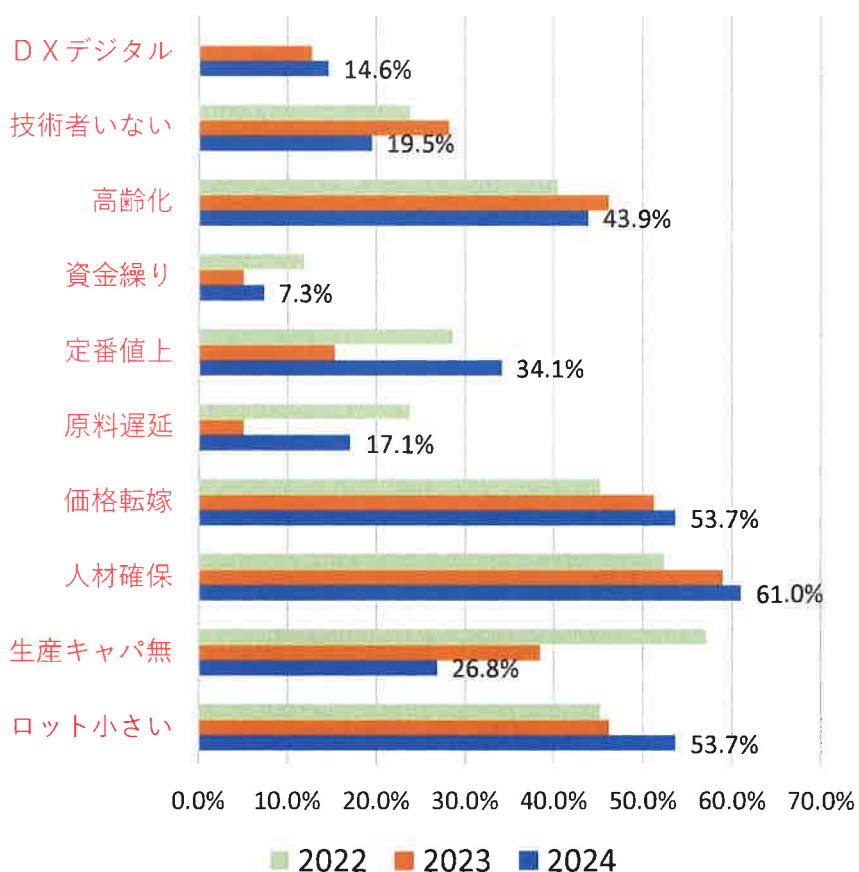
9. 現状の問題点について

(単位:社)

組合名	1	2	3	4	5	6	7	8
	ロット小さい	生産キャパ無	人材確保	価格転嫁	原料遅延	定番値上	資金繰り	高齢化
東京	13	8	16	12	7	6	2	15
(2023)	11	10	16	12	1	3	1	15
大阪	9	2	6	10	0	7	1	2
(2023)	7	5	7	8	1	3	1	3
和歌山	0	1	3	0	0	1	0	1
(2023)								
合計	22	11	25	22	7	14	3	18
構成比	53.7%	26.8%	61.0%	53.7%	17.1%	34.1%	7.3%	43.9%
2023年度	46.2%	38.5%	59.0%	51.3%	5.1%	15.4%	5.1%	46.2%
2022年度	45.2%	57.1%	52.4%	45.2%	23.8%	28.6%	11.9%	40.5%

組合名	9	10
	技術者いない	D X デジタル
東京	5	3
(2023)	7	2
大阪	2	3
(2023)	4	3
和歌山	1	0
(2023)		
合計	8	6
構成比	19.5%	14.6%
2023年度	28.2%	12.8%
2022年度	23.8%	21.4%

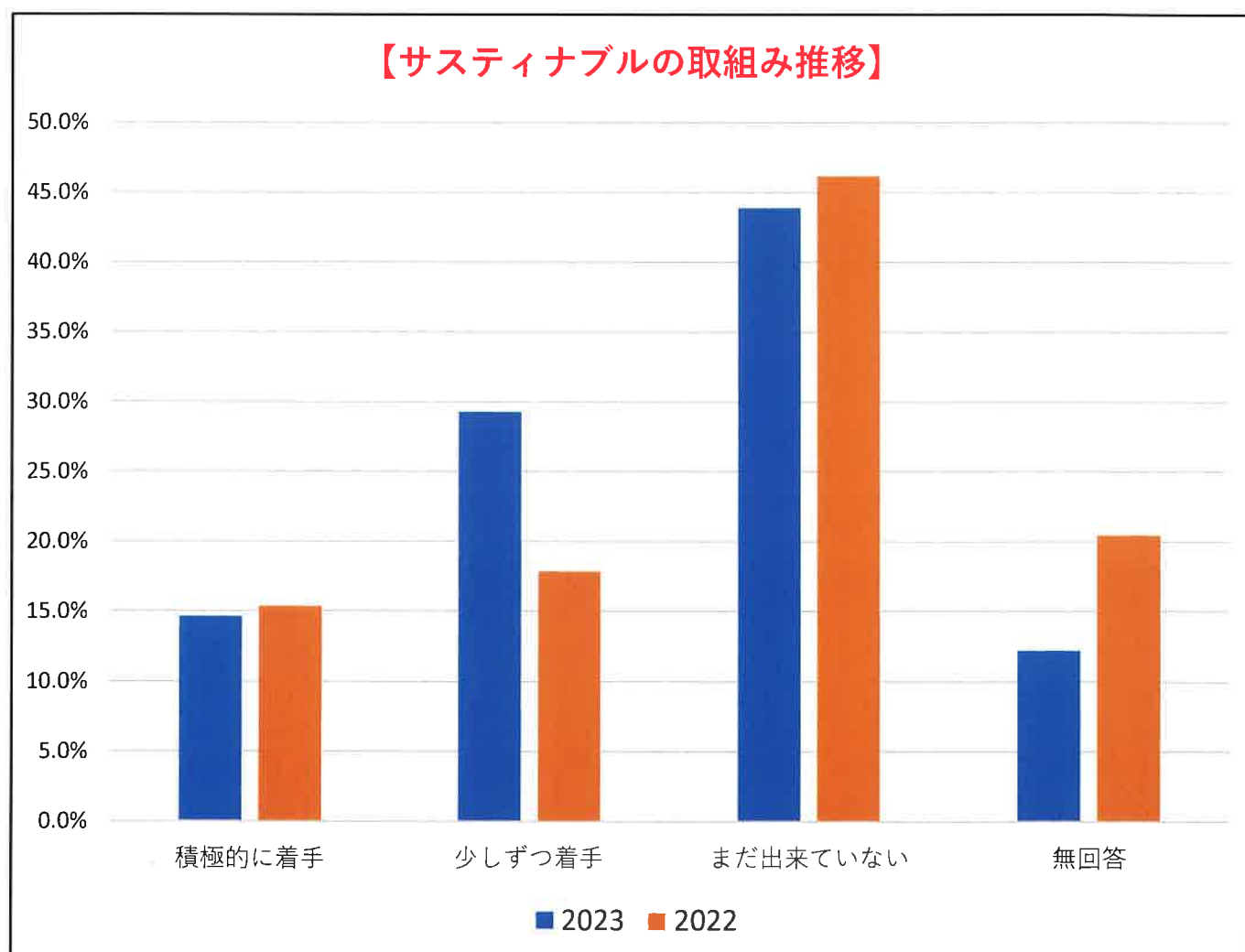
【現状の問題点について推移表】



10. サステナブルの取組みについて

(単位:社)

組合名	積極的に着手	少しずつ着手	まだ出来ていない	無回答
東京	4	10	10	0
(2023)	6	6	11	4
大阪	0	2	6	5
(2023)	0	1	7	4
和歌山	2	0	2	0
(2023)				0
合計	6	12	18	5
構成比	14.6%	29.3%	43.9%	12.2%
2023年度	15.4%	17.9%	46.2%	20.5%
2022年度	14.3%	45.2%	35.7%	4.8%



11. 上記課題へ取り組まれている内容や現状の問題点、国への要望等について

■海外マーケットへの挑戦サポート。「国への要望」(45歳)

■発注が出てくるタイミングなどもあり、生産計画を立てにくい中、班の人数を調整して

ロスのない生産体制を取っている。「ロットが小さくなっている、原材料の入荷が遅い」(47歳)

■人材確保の為、外国人技能実習生に頼っています。特定技能になれば移動が自由なので、

ますます人材確保が難しくなると思われます。「人材確保が困難、社員の高齢化」(69歳)

■海外販路支援を拡大してほしい。ものづくりに対しての支援、事業継承のための補助を希望。「国への要望」

■EUで施行された衣料品の焼却処分禁止措置を日本でも早急に施行し、厳しく取り締まりを

行うべきと思う。「国への要望」(65歳)

■外国人技能実習制度に係る特定技能職種への移行。「国への要望」(66歳)

■年間休日の変更。ミシン未経験者の採用。「人材確保が困難、社員の高齢化等」(62歳)

■最低賃金の上がり方がきつく、対応できない。

物価UP ⇒ コストUP ⇒ 上代UP ⇒ 売れないスパイラルに入っている。

「価格転嫁が十分できていない、社員の高齢化等」(54歳)

■将来へ向けて、生産現場の人材確保の為に待遇の改善に努力している。「人材確保が困難等」(67歳)

■国内生産比率アップの為に、輸入規制の方策を検討。「国への要望」(76歳)

①WTOの例外規定(安全保障、輸出に対する補助金などの対抗など。

②関税定率法の例外規定

■手の打ちようがありません。「価格転嫁が十分できていない等」(74歳)

■国内での日本製アパレル製品の購入促進施策。「国への要望」(46歳)

■海外販売・販路開拓支援。「国への要望」(46歳)

■繊維にのみ定められた4つの追加要件で、国際的な人権基準の適合を認証する制度という

お話ですが、非常に高価な費用がかかると思われます。

日本には家内工業のような縫製工場もある中で、その費用を持てないところへの特例的な

ものを設けていただくことを要望します。「国への要望」(51歳)

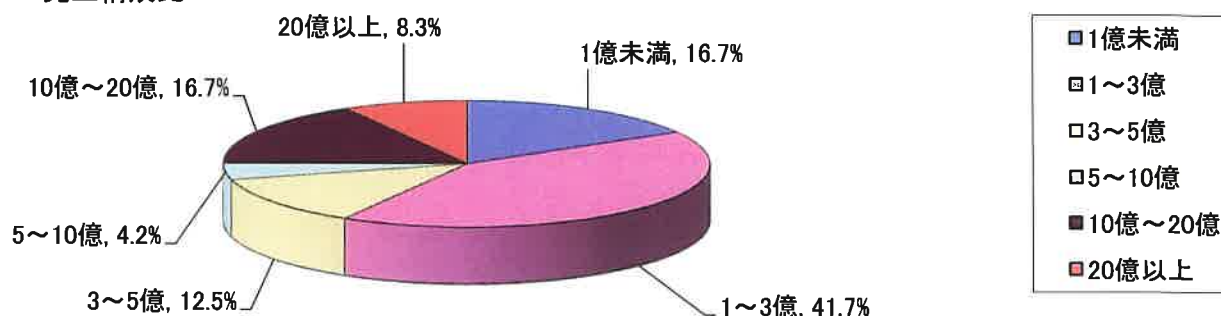
【東京】 2024年度春夏～秋冬物 【丸編製品】生産状況調査結果

1. 売上高産地別回答企業数

(単位:社)

組合名	1億未満	1～3億	3～5億	5～10億	10～20億	20億以上	不明	合計
東京	4	10	3	1	4	2		24
構成比	16.7%	41.7%	12.5%	4.2%	16.7%	8.3%	0.0%	100.0%
2023年度	5	11	3	1	5	2		27

売上構成比

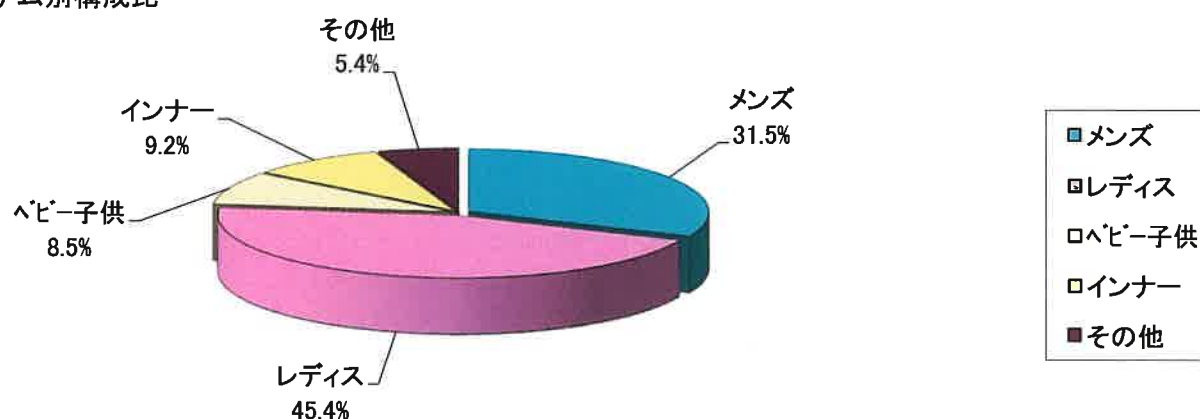


2. 取扱い製品区分産地別構成比

(単位:%)

組合名	メンズ	レディース	ベビー・子供	インナー	その他		不明	合計
東京	31.5%	45.4%	8.5%	9.2%	5.4%			100.0%
2023年度	32.6%	49.3%	6.7%	4.4%	7.0%			100.0%

アイテム別構成比

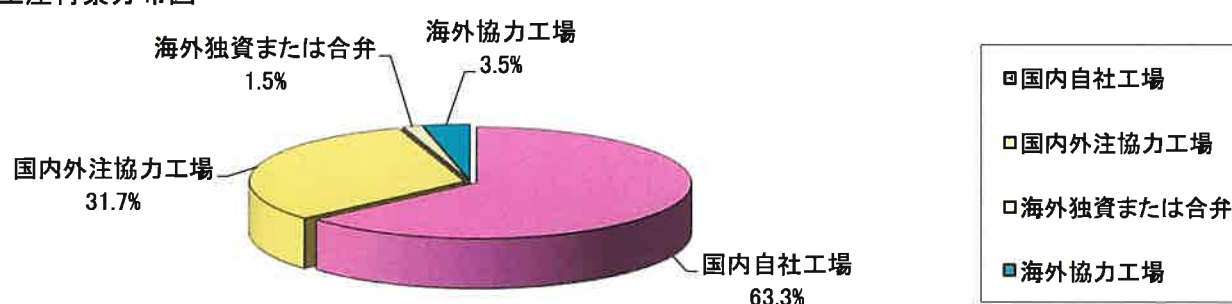


3. 国内自社、外注等、産地別生産構成比

(単位:%)

組合名	国内生産		海外生産		合計
	自社工場	外注協力工場	独資または合併	協力工場	
東京	63.3%	31.7%	1.5%	3.5%	100.0%
2023年度	59.1%	37.2%	0.0%	3.7%	100.0%

生産背景分布図



4. OEM、自社オリジナル製品産地別比率

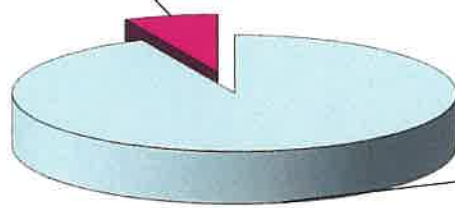
(単位: %)

組合名	OEM製品	自社オリジナル製品		不明	合計
東京	93.2%	6.8%			100.0%
2023年度	93.6%	6.4%			100.0%

製品比率

自社オリジナル製品

6.8%

OEM 製品
93.2%

□OEM 製品

■自社オリジナル製品

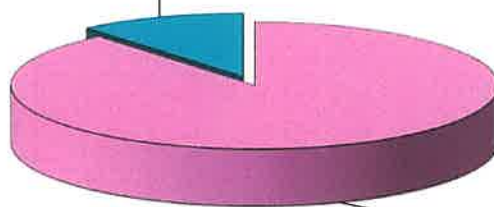
5. 取引先構成産地別比率

(単位: %)

組合名	既存取引先	新規取引先		不明	合計
東京	88.9%	11.1%			100.0%
2023年度	88.0%	12.0%			100.0%

構成比率

新規取引先, 11.1%



既存取引先, 88.9%

□既存取引先

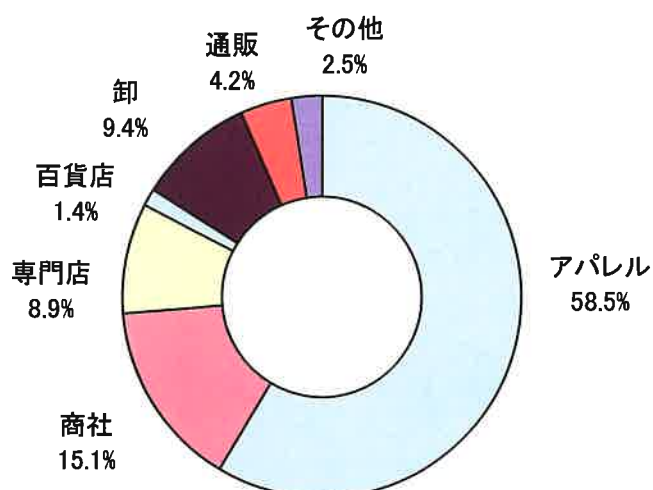
■新規取引先

6. 業態別産地別構成比

(単位: %)

組合名	アパレル	商社	専門店	百貨店	卸	通販	その他	合計
東京	58.5%	15.1%	8.9%	1.4%	9.4%	4.2%	2.5%	100.0%
2023年度	60.8%	18.6%	4.6%	1.2%	3.9%	2.1%	8.8%	100.0%

業態別構成比



□アパレル

■商社

□専門店

□百貨店

■卸

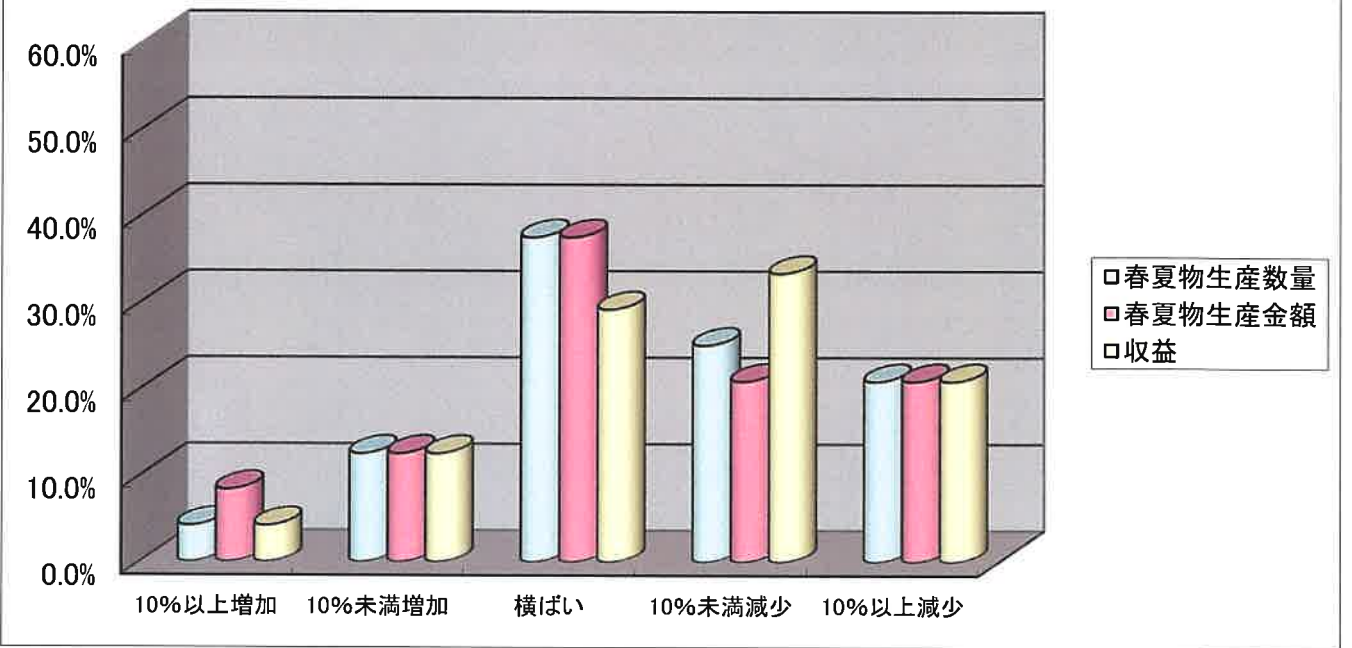
■通販

■その他

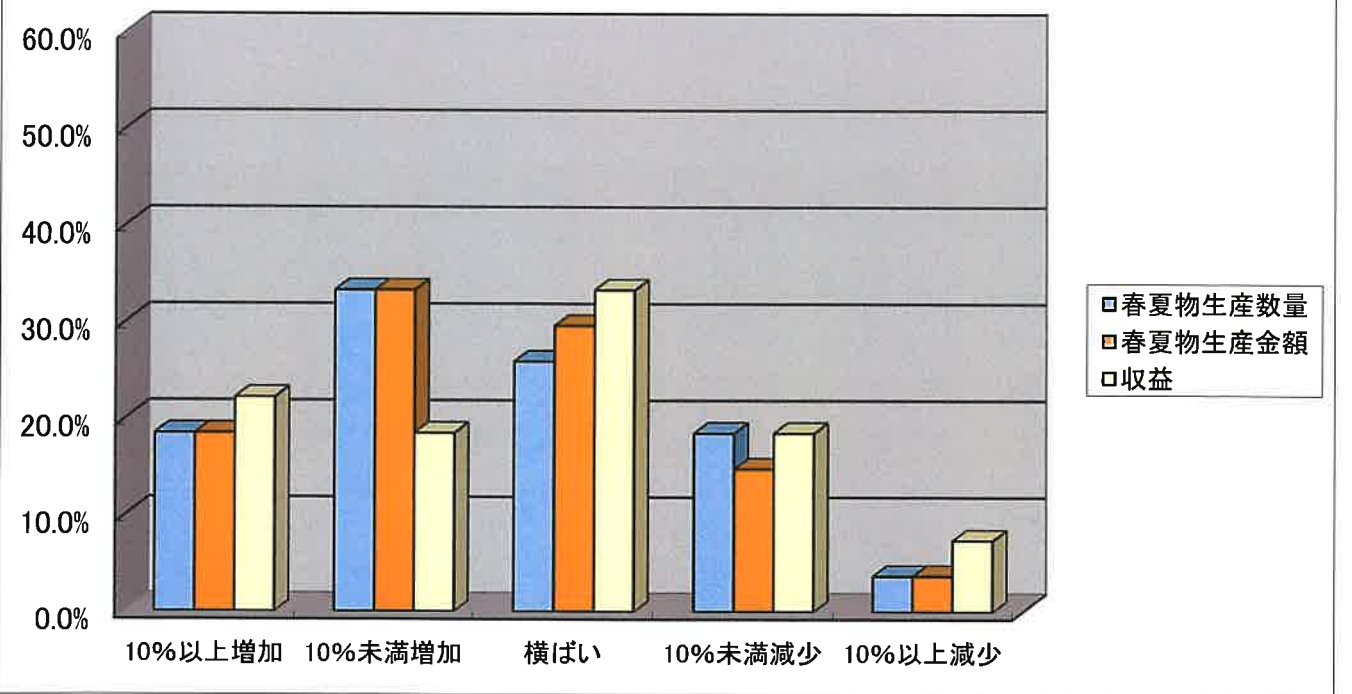
【東京】（24社）

		10%以上増加		10%未満増加		横ばい		10%未満減少		10%以上減少	
		社	構成比	社	構成比	社	構成比	社	構成比	社	構成比
春夏物	生産数量	1	4.2%	3	12.5%	9	37.5%	6	25.0%	5	20.8%
	生産金額	2	8.3%	3	12.5%	9	37.5%	5	20.8%	5	20.8%
	収益	1	4.2%	3	12.5%	7	29.2%	8	33.3%	5	20.8%
2023	生産数量	5	18.5%	9	33.3%	7	25.9%	5	18.5%	1	3.7%
	生産金額	5	18.5%	9	33.3%	8	29.6%	4	14.8%	1	3.7%
	収益	6	22.2%	5	18.5%	9	33.3%	5	18.5%	2	7.4%

2024年度 春夏物産地別生産・収益状況



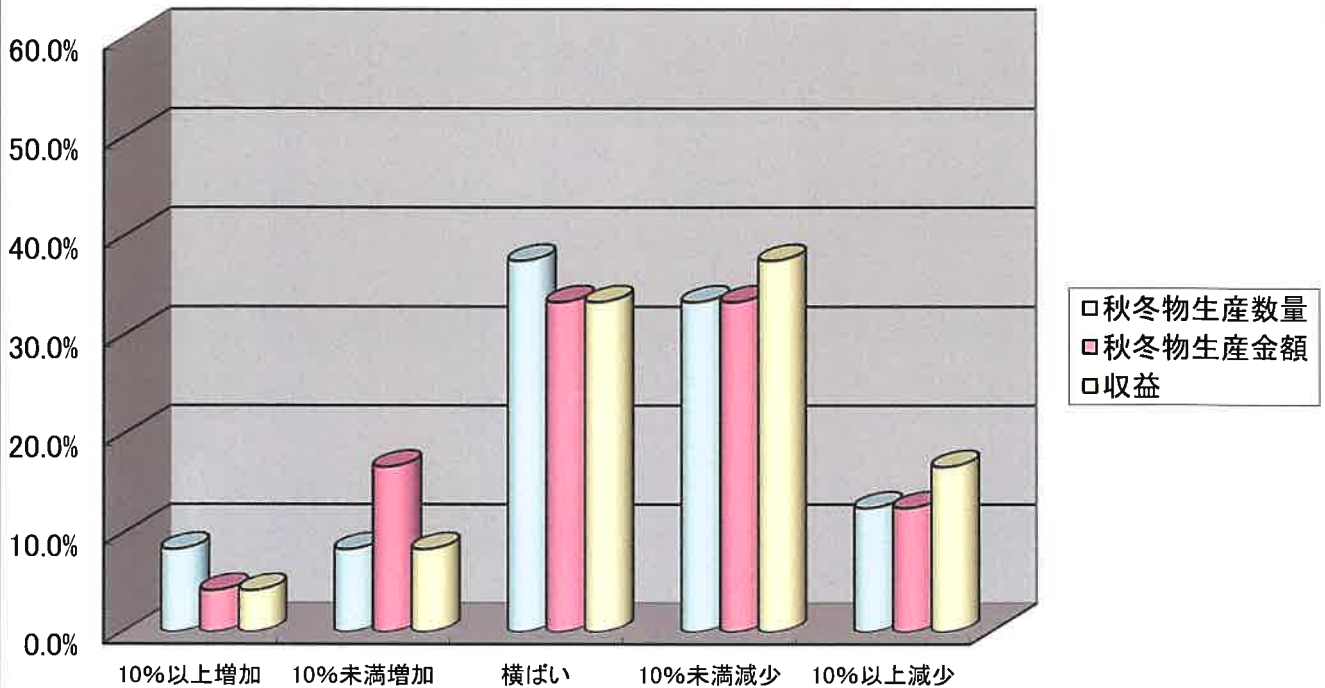
2023年度 春夏物実績データ



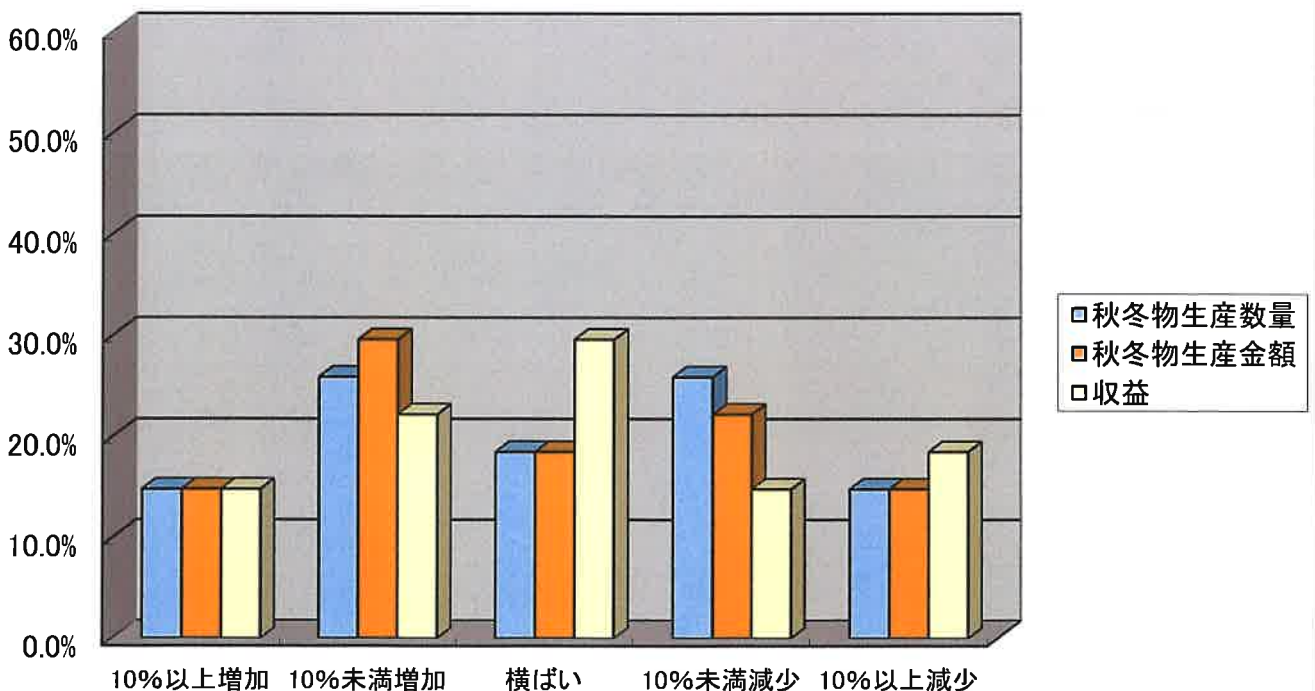
【東京】（24社）

		10%以上増加		10%未満増加		横ばい		10%未満減少		10%以上減少	
		社	構成比	社	構成比	社	構成比	社	構成比	社	構成比
秋冬物	生産数量	2	8.3%	2	8.3%	9	37.5%	8	33.3%	3	12.5%
	生産金額	1	4.2%	4	16.7%	8	33.3%	8	33.3%	3	12.5%
	収益	1	4.2%	2	8.3%	8	33.3%	9	37.5%	4	16.7%
2023	生産数量	4	14.8%	7	25.9%	5	18.5%	7	25.9%	4	14.8%
	生産金額	4	14.8%	8	29.6%	5	18.5%	6	22.2%	4	14.8%
	収益	4	14.8%	6	22.2%	8	29.6%	4	14.8%	5	18.5%

2024年度 秋冬物産地別生産・収益状況



2023年度 秋冬物実績データ



8. 産地別経営者年齢及び後継者の有無

(単位:社)

組合名	経営者の平均年齢	後継者の有・無			
		有	無	未定	合計
東京	56.4歳	12	12		24
2023年度	55.2歳	13	14		27

9. 現状の問題点について

(全 24社)

		今年度	2023年度
(1) ロットが小さくなっている		13	54.2%
(2) 生産キャパが無い		8	33.3%
(3) 人材確保が困難		16	66.7%
(4) 価格転嫁が出来ていない		12	50.0%
(5) 原材料の入荷が遅い		7	29.2%
(6) 定番商品の価格が殆ど上がらない		6	25.0%
(7) 資金繰りに課題がある		2	8.3%
(8) 社員の高齢化		15	62.5%
(9) 機械・マシン等扱う技術者がいない		5	20.8%
(10) DXデジタル活用がよく分からない		3	12.5%

10. サステナブルの取組みについて

	積極的に着手	少しずつ着手	まだ出来ていない	無回答
東京	4	10	10	
2023年度	6	6	11	4

11. 上記課題への取り組まれている内容や現状の問題点、国への要望等について

■海外マーケットへの挑戦サポート。「国への要望」(45歳)

■発注が出てくるタイミングなどもあり、生産計画が立てにくい中、班の人数を調整して

ロスの無い生産体制を取っている。「ロットが小さくなっている、原材料の入荷が遅い」(47歳)

■人材確保の為、外国人技能実習生に頼っています。特定技能になれば移動が自由なので、ますます人材確保が難しくなると思われます。「人材確保が困難、社員の高齢化」(69歳)

■海外販路支援を拡大してほしい。ものづくりに対しての支援、事業継承のための補助を希望。「国への要望」(41歳)

■EUで施行された衣料品の焼却処分禁止措置を日本でも早急に施行し、厳しく取り締まりを行うべきと思う。「国への要望」(65歳)

■外国人技能実習制度に係る特定技能職種への移行。「国への要望」(66歳)

■年間休日の変更。マシン未経験者の採用。「人材確保が困難、社員の高齢化等」(62歳)

■最低賃金の上がり方がきつく、対応できない。

物価UP ⇒ コストUP ⇒ 上代UP ⇒ 売れないスパイラルに入っている。

「価格転嫁が十分できていない、社員の高齢化等」(54歳)

■将来へ向けて、生産現場の人材確保の為に待遇の改善に努力している。「人材確保が困難等」(67歳)

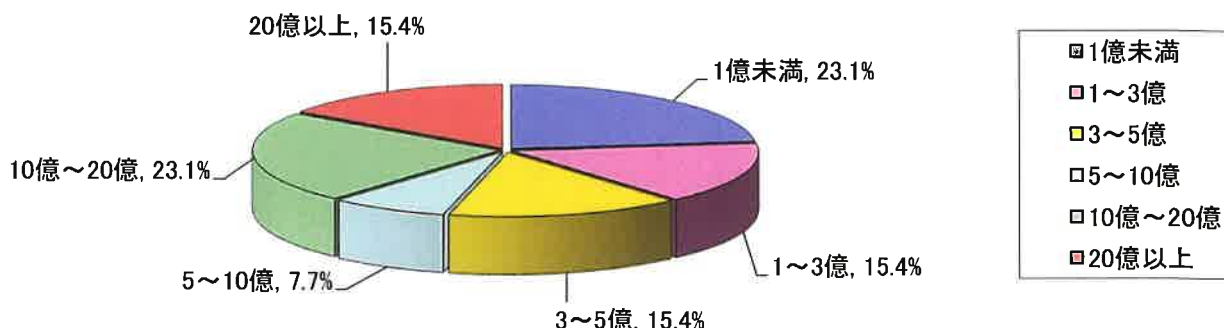
【大阪】 2024年度春夏～秋冬物 【丸編製品】生産状況調査結果

1. 売上高産地別回答企業数

(単位:社)

組合名	1億未満	1～3億	3～5億	5～10億	10～20億	20億以上	不明	合計
大阪	3	2	2	1	3	2		13
構成比	23.1%	15.4%	15.4%	7.7%	23.1%	15.4%		100.0%
2023年度	2	5	1	2	1	1		12

売上構成比

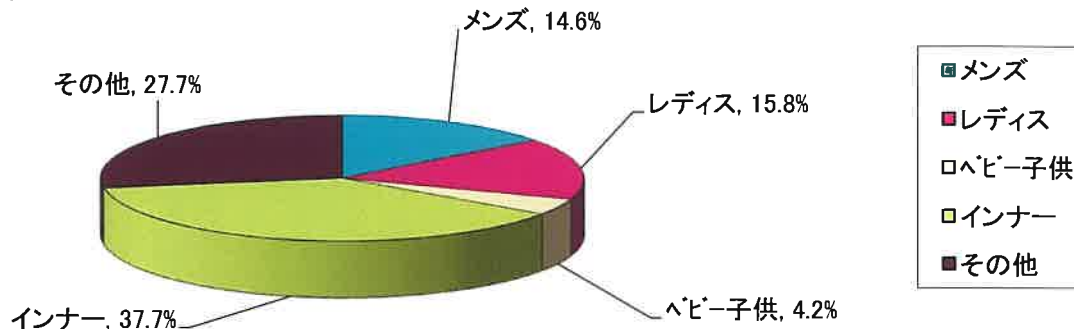


2. 取扱い製品区分産地別構成比

(単位:%)

組合名	メンズ	レディース	ベビー・子供	インナー	その他		不明	合計
大阪	14.6%	15.8%	4.2%	37.7%	27.7%			100.0%
2023年度	16.7%	32.1%	8.8%	41.7%	0.7%			100.0%

アイテム別構成比

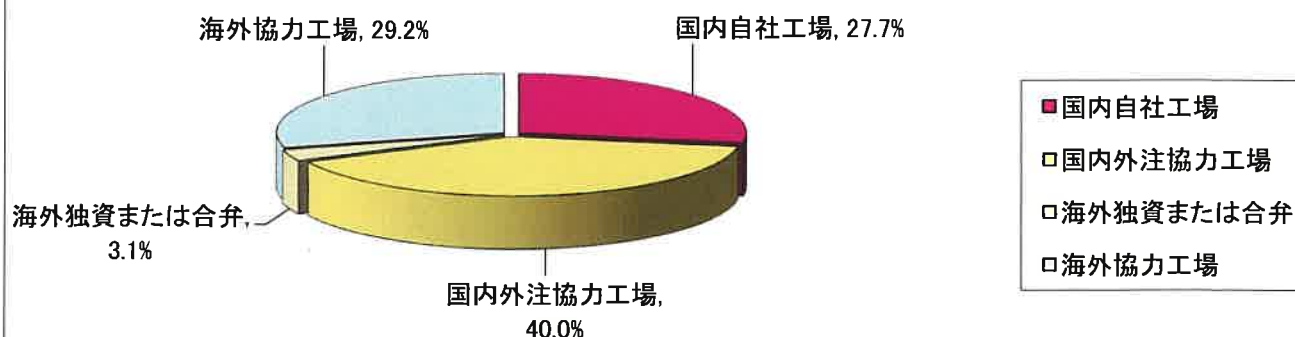


3. 国内自社、外注等、産地別生産構成比

(単位:%)

組合名	国内生産		海外生産		合計
	自社工場	外注協力工場	独資または合併	協力工場	
大阪	27.7%	40.0%	3.1%	29.2%	100.0%
2023年度	24.0%	43.3%	8.1%	24.6%	100.0%

生産背景分布図



4. OEM、自社オリジナル製品産地別比率

(単位: %)

組合名	OEM製品	自社オリジナル製品		不明	合計
大阪	62.1%	37.9%			100.0%
2023年度	52.6%	47.4%			100.0%

製品比率

自社オリジナル製品,
37.9%

■ OEM 製品
■ 自社オリジナル製品

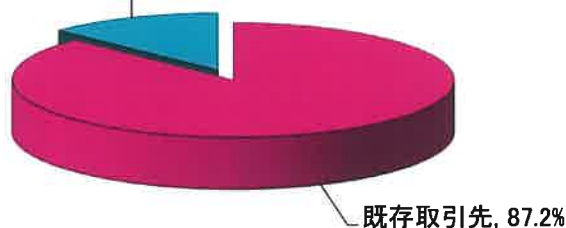
5. 取引先構成産地別比率

(単位: %)

組合名	既存取引先	新規取引先		不明	合計
大阪	87.2%	12.8%			100.0%
2023年度	91.2%	8.8%			100.0%

構成比率

新規取引先, 12.8%



■ 既存取引先
■ 新規取引先

6. 業態別産地別構成比

(単位: %)

組合名	アパレル	商社	専門店	百貨店	卸	通販	その他	合計
大阪	14.2%	16.5%	17.1%	0.9%	25.5%	9.2%	16.5%	100.0%
2023年度	23.4%	11.3%	2.9%	0.9%	26.4%	22.6%	12.5%	100.0%

業態別構成比

その他, 16.5%

アパレル, 14.2%

商社, 16.5%

専門店, 17.1%

百貨店, 0.9%

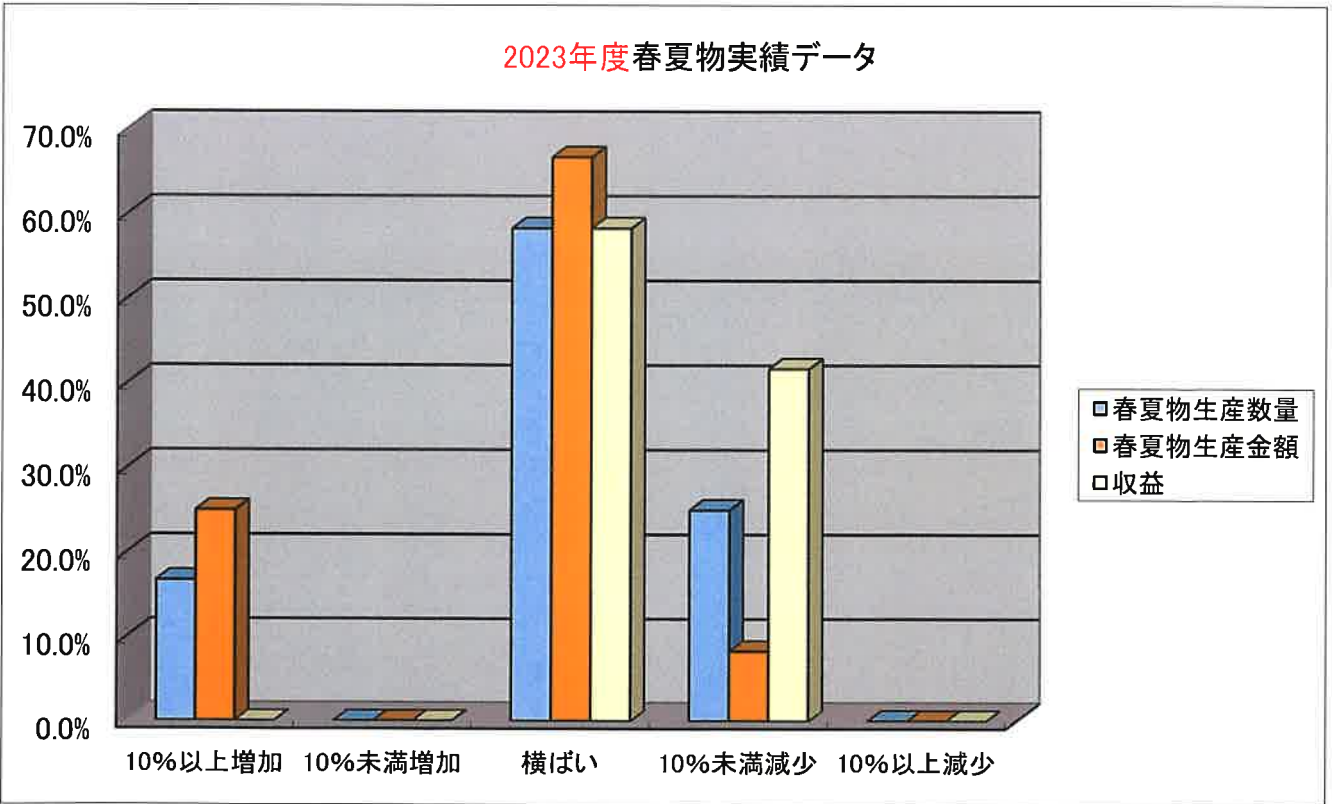
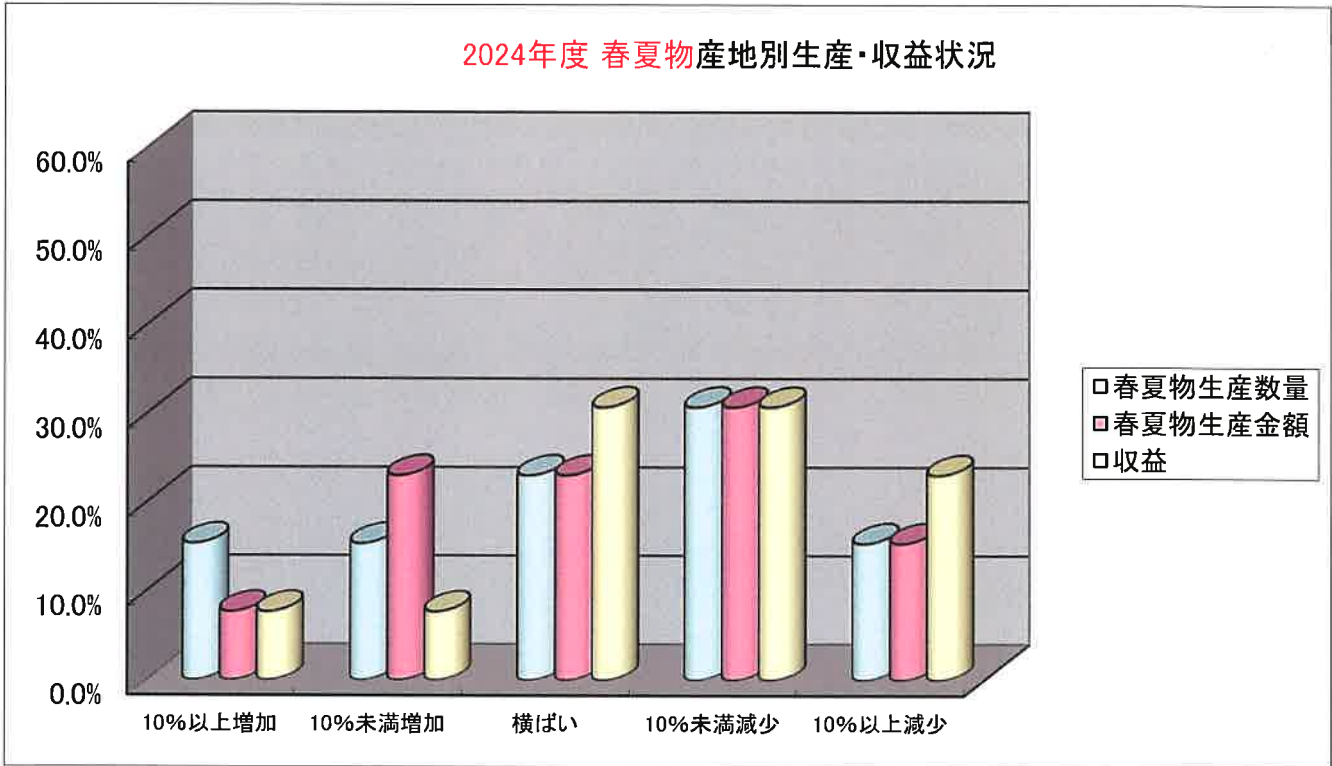
卸, 25.5%

通販, 9.2%

□ アパレル
■ 商社
□ 専門店
□ 百貨店
■ 卸
■ 通販
■ その他

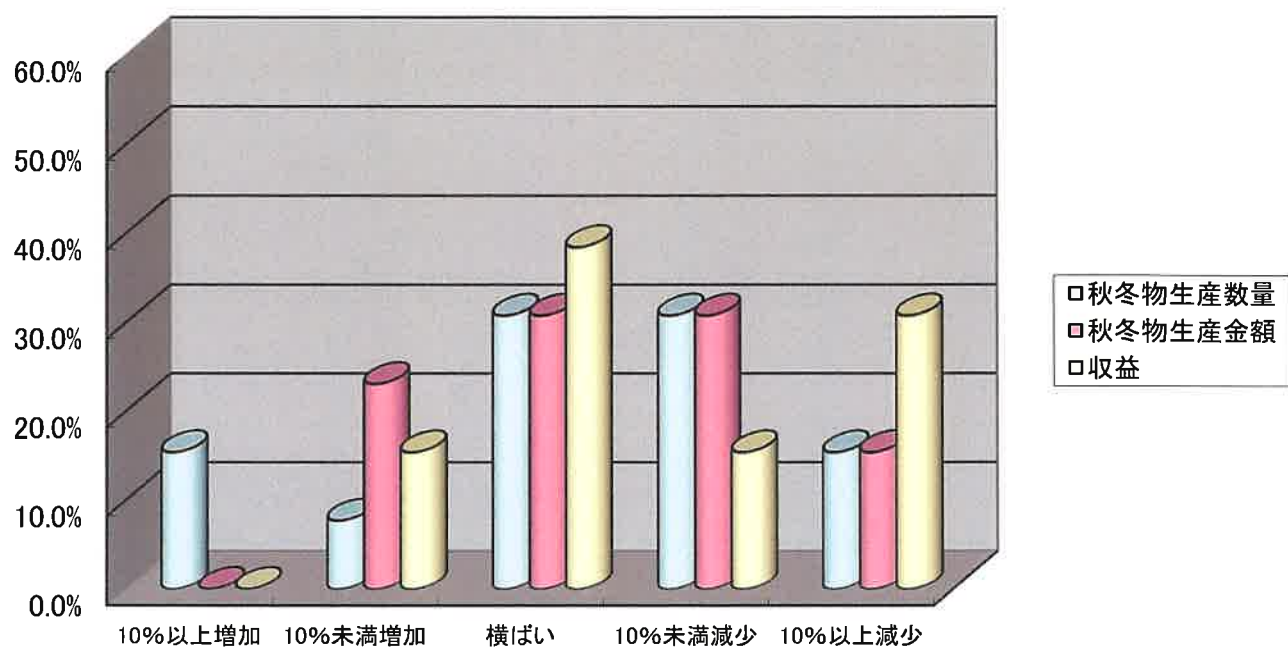
【大 阪】（ 13 社）

		10%以上増加		10%未満増加		横ばい		10%未満減少		10%以上減少	
		社	構成比	社	構成比	社	構成比	社	構成比	社	構成比
春夏物	生産数量	2	15.4%	2	15.4%	3	23.1%	4	30.8%	2	15.4%
	生産金額	1	7.7%	3	23.1%	3	23.1%	4	30.8%	2	15.4%
	収 益	1	7.7%	1	7.7%	4	30.8%	4	30.8%	3	23.1%
2023	生産数量	2	16.7%		0.0%	7	58.3%	3	25.0%		0.0%
	生産金額	3	25.0%		0.0%	8	66.7%	1	8.3%		0.0%
	収 益		0.0%		0.0%	7	58.3%	5	41.7%		0.0%

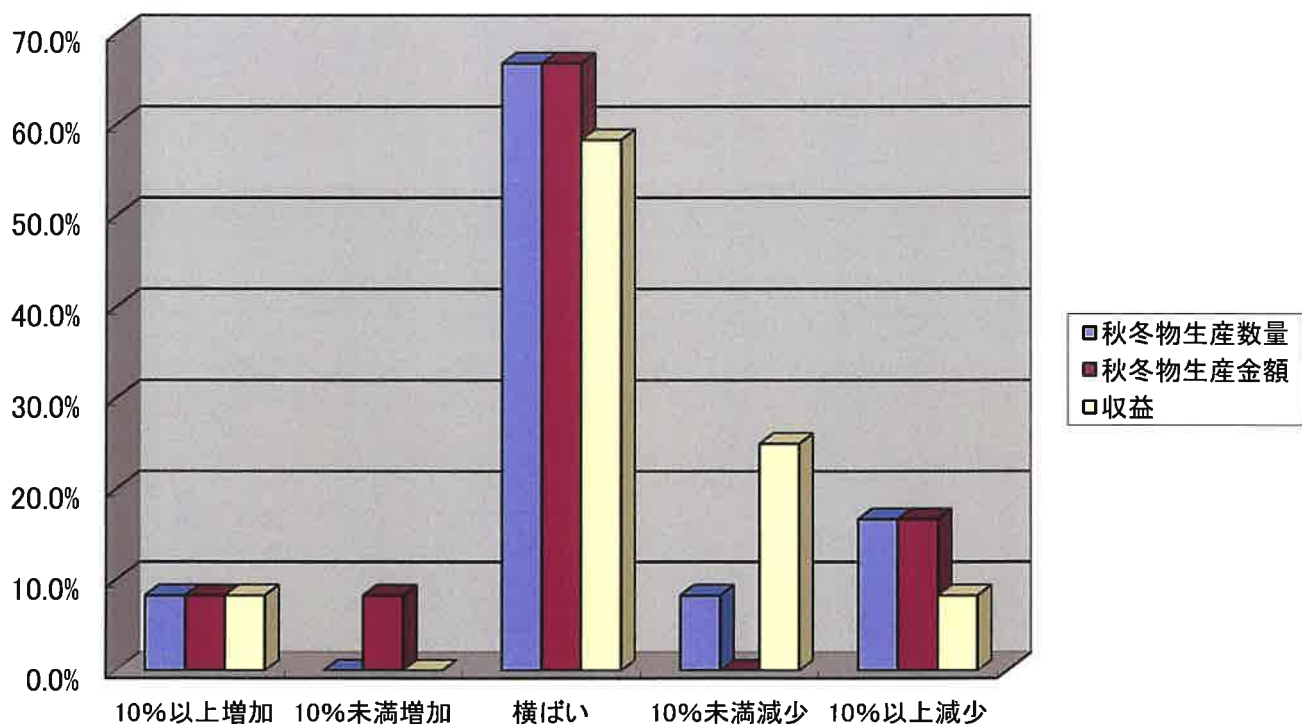


		10%以上増加		10%未満増加		横ばい		10%未満減少		10%以上減少	
		社	構成比	社	構成比	社	構成比	社	構成比	社	構成比
秋冬物	生産数量	2	15.4%	1	7.7%	4	30.8%	4	30.8%	2	15.4%
	生産金額		0.0%	3	23.1%	4	30.8%	4	30.8%	2	15.4%
	収 益		0.0%	2	15.4%	5	38.5%	2	15.4%	4	30.8%
2023	生産数量	1	8.3%		0.0%	8	66.7%	1	8.3%	2	16.7%
	生産金額	1	8.3%	1	8.3%	8	66.7%		0.0%	2	16.7%
	収 益	1	8.3%		0.0%	7	58.3%	3	25.0%	1	8.3%

2024年度 秋冬物産地別生産・収益状況



2023年度 秋冬物実績データ



8. 産地別経営者年齢及び後継者の有無

(単位:社)

組合名	経営者の平均年齢	後継者の有・無			
		有	無	未定	合計
大阪	72.2歳	11	2		13
2023年度	68.9歳	6	6		12

9. 現状の問題点について

(全 13社)

		今年度	2023年度
(1) ロットが小さくなっている		9	69.2%
(2) 生産キャパが無い		2	15.4%
(3) 人材確保が困難		6	46.2%
(4) 価格転嫁が出来ていない		10	76.9%
(5) 原材料の入荷が遅い		0	0.0%
(6) 定番商品の価格が殆ど上がらない		7	53.8%
(7) 資金繰りに課題がある		1	7.7%
(8) 社員の高齢化		2	15.4%
(9) 機械・マシン等扱う技術者がいない		2	15.4%
(10) DXデジタル活用がよく分からない		3	23.1%

10. サステナブルの取組みについて

	積極的に着手	少しずつ着手	まだ出来ていない	無回答
大阪	0	2	6	5
2023年度	0	1	7	4

11. 上記課題への取り組まれている内容や現状の問題点、国への要望等について

■国内生産比率アップの為に、輸入規制の方策を検討。「国への要望」(76歳)

①WTOの例外規定(安全保障、輸出に対する補助金などの対抗など。

②関税定率法の例外規定

■手の打ちようがありません。「価格転嫁が十分できていない等」(74歳)

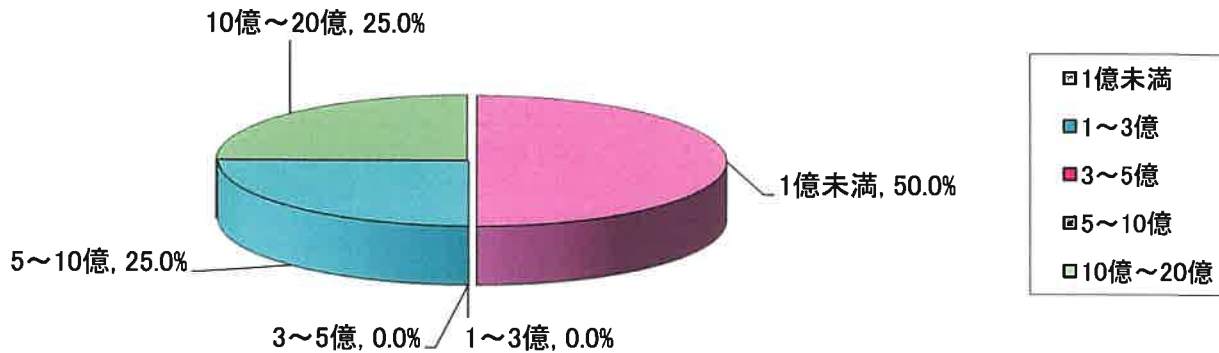
【和歌山】2024年度春夏～秋冬物【丸編製品】生産状況調査結果

1. 売上高産地別回答企業数

(単位:社)

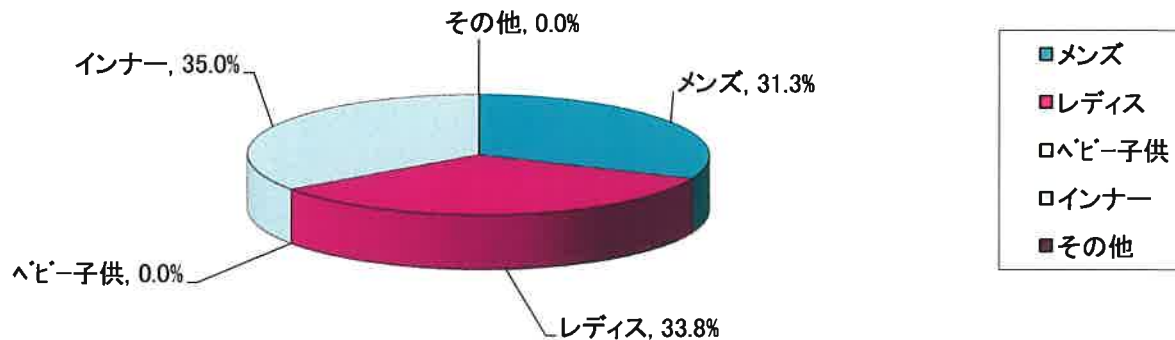
組合名	1億未満	1～3億	3～5億	5～10億	10～20億	20億以上	不明	合計
和歌山	2			1	1			4
構成比	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%			100.0%
2022年度	1	1						2

売上構成比



組合名	メンズ	レディース	ベビー・子供	インナー	その他		不明	合計
和歌山	31.3%	33.8%	0.0%	35.0%	0.0%			100.0%
2022年度	22.5%	77.5%	0.0%	0.0%	0.0%			100.0%

アイテム別構成比

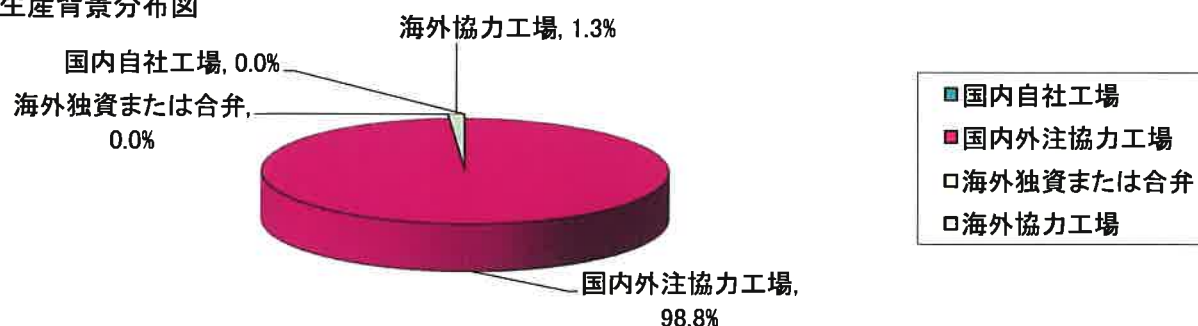


3. 国内自社、外注等、産地別生産構成比

(単位:%)

組合名	国内生産		海外生産		合計
	自社工場	外注協力工場	独資または合併	協力工場	
和歌山	0.0%	98.8%	0.0%	1.3%	100.0%
2022年度	45.0%	55.0%	0.0%	0.0%	100.0%

生産背景分布図



4. OEM、自社オリジナル製品産地別比率

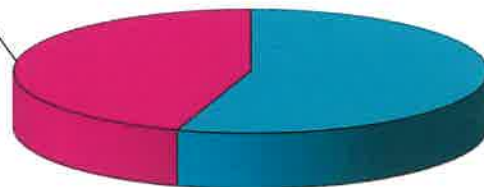
(単位: %)

組合名	OEM製品	自社オリジナル製品		不明	合計
和歌山	55.0%	45.0%			100.0%
2022年度	100.0%	0.0%			100.0%

製品比率

自社オリジナル製品,

45.0%



OEM 製品, 55.0%

■ OEM 製品

■ 自社オリジナル製品

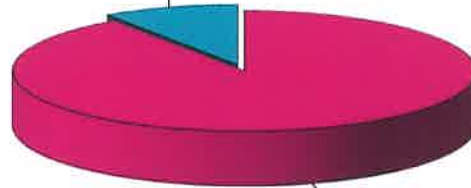
5. 取引先構成産地別比率

(単位: %)

組合名	既存取引先	新規取引先		不明	合計
和歌山	90.5%	9.5%			100.0%
2022年度	90.0%	10.0%			100.0%

構成比率

新規取引先, 9.5%



既存取引先, 90.5%

■ 既存取引先

■ 新規取引先

6. 業態別産地別構成比

(単位: %)

組合名	アパレル	商社	専門店	百貨店	卸	通販	その他	合計
和歌山	50.0%	0.3%	0.0%	20.0%	1.8%	1.8%	26.3%	100.0%
2022年度	57.5%	0.0%	42.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

業態別構成比

その他, 26.3%

通販, 1.8%

卸, 1.8%

百貨店, 20.0%

商社, 0.3%

アパレル, 50.0%

□ アパレル

■ 商社

□ 専門店

■ 百貨店

■ 卸

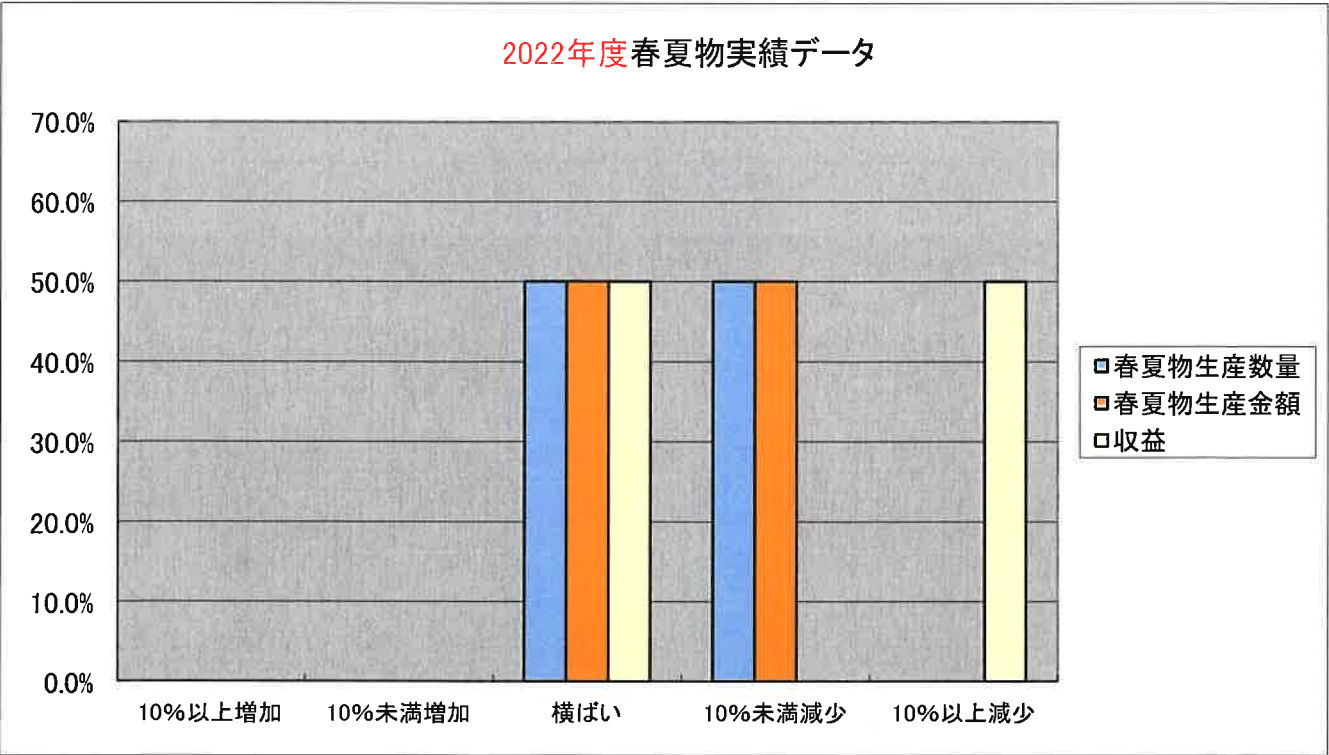
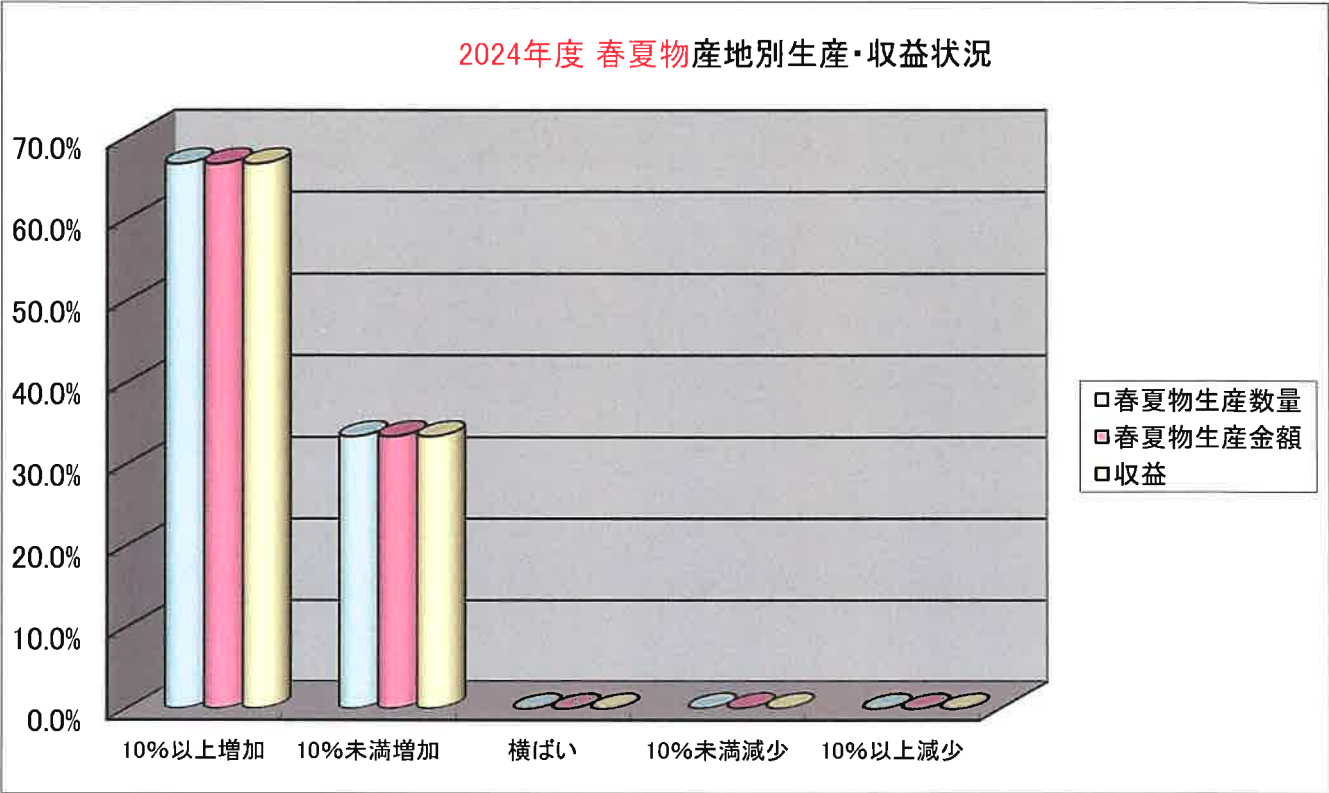
■ 通販

■ その他

専門店, 0.0%

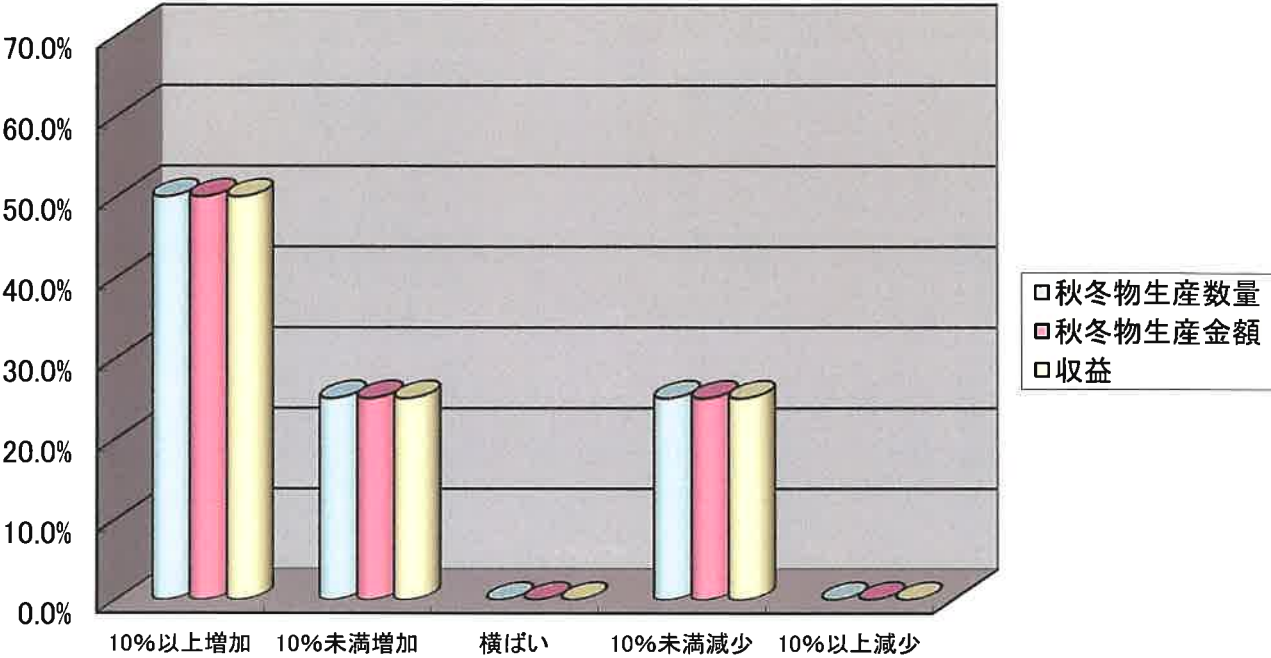
【和歌山】（ 3 社）※1社 秋冬物のみ生産

		10%以上増加		10%未満増加		横ばい		10%未満減少		10%以上減少	
		社	構成比	社	構成比	社	構成比	社	構成比	社	構成比
春夏物	生産数量	2	66.7%	1	33.3%		0.0%		0.0%		0.0%
	生産金額	2	66.7%	1	33.3%		0.0%		0.0%		0.0%
	収 益	2	66.7%	1	33.3%		0.0%		0.0%		0.0%
2022	生産数量		0.0%	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%		0.0%
	生産金額		0.0%	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%		0.0%
	収 益		0.0%	0	0.0%	1	50.0%		0.0%	1	50.0%

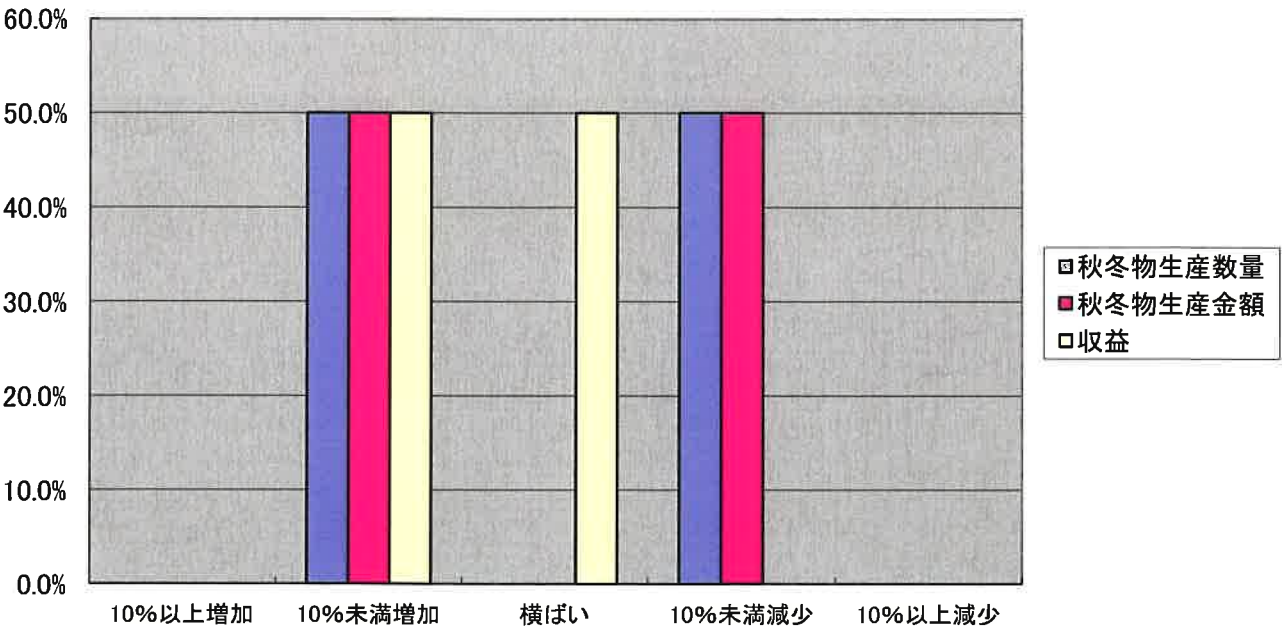


		10%以上増加		10%未満増加		横ばい		10%未満減少		10%以上減少	
		社	構成比	社	構成比	社	構成比	社	構成比	社	構成比
春夏物	生産数量	2	50.0%	1	25.0%		0.0%	1	25.0%		0.0%
	生産金額	2	50.0%	1	25.0%		0.0%	1	25.0%		0.0%
	収 益	2	50.0%	1	25.0%		0.0%	1	25.0%		0.0%
2022	生産数量		0.0%	1	50.0%		0.0%	1	50.0%		0.0%
	生産金額		0.0%	1	50.0%		0.0%	1	50.0%		0.0%
	収 益		0.0%	1	50.0%	1	50.0%		0.0%		0.0%

2024年度 秋冬物産地別生産・収益状況



2022年度秋冬物実績データ



8. 産地別経営者年齢及び後継者の有無

(単位:社)

組合名	経営者の平均年齢	後継者の有・無			
		有	無	未定	合計
和歌山	55.0歳	2	2		4
2022年度	60.5歳	0	2		2

9. 現状の問題点について

(全 4社)

		今年度	2022年度
(1) ロットが小さくなっている	0	0.0%	0.0%
(2) 生産キャパが無い	1	25.0%	50.0%
(3) 人材確保が困難	3	75.0%	50.0%
(4) 価格転嫁が出来ていない	0	0.0%	0.0%
(5) 原材料の入荷が遅い	0	0.0%	0.0%
(6) 定番商品の価格が殆ど上がらない	1	25.0%	0.0%
(7) 資金繰りに課題がある	0	0.0%	0.0%
(8) 社員の高齢化	1	25.0%	50.0%
(9) 機械・ミシン等扱う技術者がいない	1	25.0%	0.0%
(10) DXデジタル活用がよく分からない	0	0.0%	0.0%

10. サステナブルの取組みについて

	積極的に着手	少しずつ着手	まだ出来ていない	無回答
和歌山	2	0	2	
2022年度	0	0	2	

11. コロナ禍において新しく取り組まれている内容や現状の問題点、国への要望等について

■国内での日本製アパレル製品の購入促進施策。「国への要望」(46歳)

■海外販売・販路開拓支援。「国への要望」(46歳)

■繊維にのみ定められた4つの追加要件で、国際的な人権基準の適合を認証する制度という

お話ですが、非常に高価な費用がかかると考えられます。

日本には家内工業のような縫製工場もある中で、その費用を持てないところへの特例的な

ものを設けていただくことを要望します。「国への要望」(51歳)